

令和4年度 SAFEアワード 取組事例集

目次

1. はじめに	1
2. 事例一覧	2
3. 転倒災害防止部門	7
4. 腰痛予防部門	14
5. ウェルビーイング部門	24
6. 企業等間連携部門	47

1. はじめに

「SAFEコンソーシアム」※では、職場において実施されている労働災害防止や安全・健康の増進のための取組事例を募集し、表彰することで、優良な取組を進める職場の「見える化」を図り、企業・労働者による更なる取組を促進することを目的として「SAFEアワード」を実施しています。令和4年度には次の部門別に応募いただき、一般投票等を経て優良事例が選出されました。

- ・ 転倒災害防止部門
- ・ 腰痛予防部門
- ・ ウェルビーイング（安全衛生）部門（転倒災害防止及び腰痛予防の取組以外）
- ・ 企業等間連携部門

※ 労働災害のない安全で安心して働ける職場の実現は、いうまでもなく全ての人の願いです。しかし今、産業構造の変化や働き方の多様化に伴って、転倒や腰痛などの労働者個人の身体機能が大きく影響するリスクや、顧客・発注者、調達先等との関係で改善が難しい業務、柔軟な働き方が進んだ結果としての統一的な教育研修機会の減少など、職場単独では対応が難しい新たな課題が増えてきています。SAFEコンソーシアムは、このような課題の解決を進めるため、「Safer Action For Employees (SAFE)」を旗印に、社会全体として安全で安心して働ける職場づくりのプライオリティを上げ、加盟者が互いの知恵を共有しながら取組を進めていこうとするものです。

2. 事例一覧

転倒災害防止部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	ペガサス100人100回 起立着座訓練の実施！！	社会医療法人ペガサス	保健衛生業	300～
2	「冬のゼロ災運動」で凍結路面の転倒防止！	イオン北海道株式会社	小売業	300～
3	安全な作業に必要な体力の視点から転倒予防！「安全体力®」の把握と維持・改善	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所（倉敷地区）安全健康室ヘルスサポートセンター	製造業	300～
4	転倒災害を削減！「一段踏み台、二段踏み台」の導入	株式会社カインズ	小売業	300～
5	安全パトロールによる職場内の環境整備	社会福祉法人壽光会	保健衛生業	100～299
6	ベテランず体力チェック 若い者には負けない！！	株式会社ササキ	製造業	100～299
7	転倒防止は基本の「き」から～全員参加で守り合い～	株式会社ベイシア	小売業	300～
8	油の持ち出し対策！オリジナル「シューズブラシ」開発	株式会社平和堂	小売業	300～
9	「転倒アンケート」で危険箇所を発見	株式会社平和堂	小売業	300～
10	グループ総力の知恵を共有し 転倒災害防止！	キヤノン株式会社	製造業	300～
11	ほっとできる場所こそ 転倒災害防止の徹底を！	社会福祉法人恩賜財団 東京都同胞援護会	保健衛生業	300～
12	労働災害（転倒災害）の未然防止	株式会社万代	小売業	300～
13	啓発DVDやオリジナル漫画による転倒災害防止	深田サルベージ建設株式会社	建設業	300～

腰痛予防部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	ご入居者の残存能力の活用により介護職の腰痛予防・負担軽減へ～リハビリ専門職によるアセスメントがポイント～	SOMPOケア株式会社	保健衛生業	300～
2	原料袋の軽量化と腰痛ベルトで腰痛予防！	株式会社にしき堂	製造業	300～
3	腰痛対策 ノーリフトケア&腰痛予防体操	健祥会グループ	保健衛生業	300～
4	『抱えない介護』の実践で安心、安全に働ける職場を目指す	医療法人豊成会	保健衛生業	50～99
5	介護×テクノロジー＝腰痛予防	社会福祉法人宣長康久会	保健衛生業	100～299
6	腰痛ゼロを目指せ！ ノーリフティングケアの実践	社会福祉法人あいの土山福祉会 エーデル土山	保健衛生業	100～299
7	環境調整と理学療法士による腰痛予防対策	社会福祉法人創世福祉事業団	保健衛生業	50～99
8	「えっ、これだけ？」意識が変わる「腰痛予防」	本田技研工業株式会社 埼玉製作所	製造業	300～
9	作業動作に合わせて考案したストレッチ「ヤオコー体操」	株式会社ヤオコー	小売業	300～
10	介護の標準化と腰痛予防を考えた3つの取り組み	社会福祉法人杏樹会 特別養護老人ホーム 杏樹苑爽風館	保健衛生業	50～99
11	からだをほぐして腰痛予防+1（プラスワン）	社会福祉法人恩賜財団 東京都同胞援護会	保健衛生業	300～
12	腰痛予防促進プロジェクト「腰痛(コシータ) to 腰楽(コシラック)」	社会福祉法人同塵会 特別養護老人ホーム 日野サザンポート	保健衛生業	300～
13	腰痛予防ラウンドで、栄養部門の腰痛予防改善！	医療法人財団五省会	保健衛生業	100～299
14	車ジャッキでらっく楽！ 膝・腰痛予防のKAIZEN	株式会社ササキ	製造業	100～299
15	人力による体位変換をなくし、職員の負担軽減を図る！	医療法人医誠会	保健衛生業	300～
16	医師、理学療法士、作業療法士監修 みんなでベガサス腰痛予防体操！！	社会医療法人ベガサス	保健衛生業	300～
17	事業所内で腰痛予防！ ～職場で・健康診断で・当センターで～	JFEスチール株式会社 西日本製鉄所（倉敷地区）安全 健康室ヘルスサポートセンター	製造業	300～
18	介護技術指導プロジェクトチームの発足 ～ノーリフトケアへの取り組み～	社会福祉法人IGL学園福祉会	保健衛生業	300～
19	リフトの導入～選択から導入時における取り組み～	社会福祉法人広島県同胞援護 財団	保健衛生業	100～299

ウェルビーイング（安全衛生）部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	事故を未然に予見する！KYT活動（危険予知トレーニング）	株式会社カインズ	小売業	300～
2	全社一体の改善サイクルによる安全活動の定着化	イオン東北株式会社	小売業	300～
3	安全・安心な介護職場を「仕組み」で実現！	社会福祉法人松美会	保健衛生業	100～299
4	可視化で防ぐ！労働災害	イオン北海道株式会社	小売業	300～
5	雇入れ時の安全衛生教育の向上	株式会社万代	小売業	300～
6	専門家のアドバイスも活用した労働災害の再発防止対策	社会福祉法人あかつき福祉会	保健衛生業	100～299
7	労災予防オリジナルポスターの募集 ～各店・各部の取り組みから全社の予防へ～	株式会社イトーヨーカ堂	小売業	300～
8	安全動画で労災防止！	株式会社デリシア	小売業	300～
9	労働健康安全管理アドバイザーとの安全衛生巡店	株式会社リオン・ドール コーポレーション	小売業	300～
10	動画を活用して労災事故発生防止！	サミット株式会社	小売業	300～
11	路上事故防止のための危険個所調査（通勤及び業務中を含む）	社会福祉法人川福会	保健衛生業	300～
12	安全風土を醸成し、労災削減！	イオン北海道株式会社	小売業	300～
13	オリジナル体操で労災対策！	イオン北海道株式会社	小売業	300～
14	建設現場におけるワンコイン（安価）での熱中症対策自販機の展開	光建工業株式会社	建設業	50～99
15	健康への第一歩！地域を歩いてYouTubeに公開	有限会社美松運送	陸上貨物運 送事業	50～99
16	事故共有を紙ベースからイラスト動画へ！事故共有動画！	株式会社カインズ	小売業	300～
17	自律的な店舗安全推進活動！	株式会社カインズ	小売業	300～
18	事故「ゼロ」を目指そう！「3ヶ月無事故運動」	株式会社カインズ	小売業	300～
19	「安全衛生チェックリスト」で労災予防！	株式会社いなげや	小売業	300～
20	「リアハッチにゴツンッ」防止作戦！！	株式会社カクヤス	小売業	300～
21	身近な災害事例を自分ごと化へ！ ～安全衛生スタッフお手製リーフレットで啓発活動～	株式会社IHIエスキューブ	通信業	300～
22	『FAN×FUNプロジェクト』でウェルビーイングな職場環境に！	東京海上日動ベターライフ サービス株式会社	保健衛生業	300～
23	ゆとりある就業環境の確保 ～「ゆたかCafé」でほっと一息～	社会福祉法人恩賜財団 東京都同胞援護会	保健衛生業	300～
24	ドライバーの不健康が事故を引き起こす！？ 生活習慣改善プロジェクト	株式会社利根川産業	その他	50～99
25	フリーランス芸能従事者のメンタルケア相談窓口を開設！	一般社団法人日本芸能従事者 協会	その他	1～9
26	ららぽーと湘南平塚全従業員対象 スマホで答える防火 防災クイズ！	三井不動産商業マネジメント 株式会社ららぽーと 湘南平塚オペレーションセンター	その他	10～29

ウェルビーイング（安全衛生）部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
27	SASAKI de 宅配 ストレス軽減！働くみんなの買い物サポート	株式会社ササキ	製造業	100～299
28	作業前のフルハーネス点検装置	川中島建設株式会社	建設業	50～99
29	従業員が健康で豊かな人生を選択できる「きっかけ作り」に挑戦しています！	株式会社小宮山土木	建設業	50～99
30	建設現場がおもしろい！DX活用で働きがいのある職場に転換！	高木建設株式会社	建設業	50～99
31	打ち合わせシートで事故ゼロの建設現場に	株式会社安部日鋼工業	建設業	10～29
32	衛生用品の設置で建設現場従事者の「健康を守る」	株式会社安部日鋼工業	建設業	10～29
33	休憩時間を充実させるウォーターサーバー	株式会社安部日鋼工業	建設業	10～29
34	「小学生の生の声」を全員で共有し、安全意識の向上を図る	株式会社安部日鋼工業	建設業	10～29
35	入りたくなるトイレで建設現場の「きたない・きついを払拭」	株式会社安部日鋼工業	建設業	10～29
36	介護ロボットの導入標準化と活用を考えた取り組み	社会福祉法人 杏樹会 特別養護老人ホーム 杏樹苑爽風館	保健衛生業	50～99
37	スタッフファーストへの挑戦！ 人材確保対策室の実践	社会福祉法人あいの土山福祉会 エーデル土山	保健衛生業	100～299
38	「心身の健康づくり計画」を制定し取り組んでいます	深田サルベージ建設株式会社	建設業	300～
39	「健康経営優良法人」認定制度を活用した人材の定着・確保	社会福祉法人あかつき福祉会	保健衛生業	100～299
40	ペガサストレーニングコーナーでHealthPromotion	社会医療法人ペガサス	保健衛生業	300～
41	ペガサスマンタルサポート	社会医療法人ペガサス	保健衛生業	300～
42	労災カレンダーで危険確認！	ナガセケムテックス株式会社	製造業	300～
43	わが社の安全衛生の取り組みについて	株式会社広島トランスポート	陸上貨物運送業	50～99
44	労災を事前に防ぐ 健康な体の維持	株式会社イズミ	小売業	300～

企業等間連携部門

番号	タイトル	企業名	業種	従業員数
1	(株)ベルク様との労働災害防止に向けた取組	ミズノ株式会社	製造業	300～
2	オリジナルANAグループ体操	ANAホールディングス株式会社	その他	100～299
3	地元サッカークラブを活用した啓発活動 ～伊勢労働基準監督署様との連携～	特定非営利活動法人FC.ISE-SHIMA	その他	1～9
4	HK株式会社・公式陸上部・健康推進室コラボ企画 アス飯	本田技研工業株式会社 埼玉製作所	製造業	300～
5	従業員の足腰力をAIが評価し、労災リスクを見える化する最新テクノロジー	株式会社AYUMI BIONICS	その他	1～9
6	毎日欠かさず転倒・腰痛予防体操 ～働きやすい職場づくりのための取組み～	株式会社らいふ ホームステーションらいふ大和	保健衛生業	10～29
7	グループ製造業連携委員会（労働安全分科会）の設立	ナガセケムテックス株式会社	製造業	300～
8	「前掛け」しっかり着用して腰痛防止！！	株式会社カクヤス	小売業	300～
9	従事者と利用者にとって良い状態を ～企業等との連携で従事者・利用者に笑顔を～	社会福祉法人恩賜財団 東京都同胞援護会	保健衛生業	300～

取組事例 転倒災害防止部門



1 社会医療法人ペガサス 保健衛生業 従業員規模 300～ 大阪 ゴールド賞

ペガサス100人100回 起立着座訓練の実施！！



2021年7月～9月の期間において、転倒災害が2件発生しており、転倒災害を減らすための会議を実施。



職員に転倒災害が起きている問題の共有を行い、転倒災害対策の検討を行った。検討の結果、効率的に筋力増強ができる手段が良いとの意見がまとまり、医師、理学療法士、作業療法士等をはじめとする検討チームを発足し、具体的な実施方法について、討議を行った結果、ペガサスグループの職員100名（多職種）による起立着座訓練の動画を作成することとした。多職種（医師、看護師、リハビリスタッフ、保育士、検査技師等）が登場する動画を撮影し、職員に向けて周知し、公開を行った。



2022年7月～9月の期間において、転倒災害は0件（前年度2件）となり、効果があった。
職員にアンケートを実施し、「立って座るだけの簡単な運動で継続できよう」「日常的な動作であり、無理なくできる」「医学的に推奨されているうえに、身近な職員が登場し、楽しく続けられる」などの意見があり、今後も継続して、転倒災害予防・職員の意識の啓発に努める。

ポイント

職員の方が持っている高度な専門性を労働安全衛生の取組に活用している点や、様々な職種の方が対策に関わることで、全ての方が転倒災害の問題を自分事としてとらえ、取り組める環境を実現している点が素晴らしいです。



2 イオン北海道株式会社 小売業 従業員規模 300~ 北海道 シルバー賞

「冬のゼロ災運動」で凍結路面の転倒防止！



冬のゼロ災運動 実施中

イオン北海道は毎年12月～3月にかけて、凍結路面による転倒災害が増加します。この傾向を減らすには、転倒災害の発生を徹底して防ぐ必要があります。転倒災害の発生を減らすには、凍結路面を多く含む道路を重点的に清掃し、凍結防止剤を撒きまくることで、転倒災害の発生を減らすことに努めています。

■ 実施期間 12月1日～3月31日

■ 重点取組 通勤途中及び店舗敷内の転倒災害

■ 取組目標 冬の転倒災害発生率比50%に減らす

特徴① 転倒災害は「歩道」に多発！！

歩道は凍結しやすい場所です。歩道に凍結防止剤を撒きまくることで、転倒災害の発生を減らすことに努めています。

特徴② 転倒災害は「出社時」に多発！！

通勤途中は凍結しやすい場所です。通勤途中に凍結防止剤を撒きまくることで、転倒災害の発生を減らすことに努めています。

特徴③ 転倒災害で「骨折」が多発！！

凍結路面は転倒の原因となります。転倒すると骨折などの重篤な怪我につながる可能性があります。

特徴④ 転倒災害は50代以上が要注意！！

高齢者は転倒しやすい傾向があります。転倒すると骨折などの重篤な怪我につながる可能性があります。



転倒リスクを軽減するために・・・

①前年度の「転倒災害」の傾向を徹底的に調べました。(時間・場所・年齢など)

②ポスターを作成し、従業員に「傾向」と「防止対策」を周知しました。

分析を継続し、冬期間「安心・安全」に働ける環境づくりを行います。

雪国の天敵は「雪」です。毎年、多くの従業員が「雪」や「凍結路面」が原因で転倒し、ケガをしています。

そしてそのケガは「骨折」など重篤化することが多く、年度最大の繁忙期「年末商戦」に勤務できないことも・・・

ポイント

雪や凍結による労働災害は、転倒災害の7%程度を占めています。対策を労働者個人に任せるのではなく、企業の課題として取り組まれている点が評価されました。



3 JFEスチール株式会社 西日本製鉄所(倉敷地区) 安全健康室ヘルスサポートセンター 製造業 従業員規模 300~ 岡山 ブロンズ賞

安全な作業に必要な体力の視点から転倒予防！「安全体力®」の把握と維持・改善



弊社統合の2003年前後、転倒災害被災者の約半分が高年齢労働者であった。そこで安全に作業を行うために必要な体力を安全体力と定義し、全従業員の安全体力を把握・改善するため独自の5段階評価を示した安全体力機能テスト(2004年～7項目)と転倒予防体操(2009年～15時/毎日)を開発し実施している。転倒リスクは3項目で評価し、毎年の健康診断時に全従業員が実施している。評価1.2の低体力者および筋骨格系疾患による中止者について、改善のための運動指導を行い再測定や産業医面談でフォローしている。転倒経験者は非経験者に比べ低体力者の割合が多く、本テストの有用性も示された。また、転倒予防体操を開発し、この体操が転倒リスクテスト3項目を改善させることを確認し、全職場に展開している。行動災害のひとつである転倒災害を予防するため、これらの活動を約20年間取り組んだ結果、倉敷地区における50歳以上の転倒災害は減少傾向にある。

◆「安全体力®」機能テスト

転倒リスクテスト(3項目)

1. 片脚立ちテスト 2. ステップテスト

◆5段階評価の概念とフォロー体制

評価2「注意域」指導
評価1「危険域」指導・再測定・面談

◆転倒予防体操 「アクティブ体操®」part II

◆体力低下が原因と推定される50歳以上の転倒災害の推移 倉敷地区

50歳以上の転倒災害は減少傾向
*労働災害報告体制が変更された2006年からの推移

ポイント

転倒災害の防止のためには職場の環境改善だけでなく、労働者の方の身体機能の維持向上の取組も不可欠です。そのための実効的な仕組みを構築し、既に約20年間も運用されている点が評価されました。



4 株式会社カインズ 小売業 従業員規模 300～ 埼玉 **ブロック賞** (関東ブロック)

転倒事故を削減！「一段踏み台、二段踏み台」の導入



【目的】

・過去の労働災害や店舗でのヒヤリハットを分析し、転倒・転落災害を削減するべく、踏み面を広くし、持ち手を備えたことで、より安全性の高い「一段踏み台」と「二段踏み台」を開発し、店舗へ導入

【ポイント】

- ・カインズ独自の開発踏み台（過去の労働災害やヒヤリハットを分析して開発）
- ・踏み面を広くしたことで安定感アップ
- ・持ち手兼手すりを取り付けたことで、より安全に昇降が可能
- ・アルミ製のため、女性でも簡単に持ち運びが可能
- ・踏み台の乗ると自重で沈み込み、脚が床面にしっかりと設置し、安全性が向上

【一段踏み台】



【二段踏み台】



ポイント

踏み台から降りる際の「踏み外し」による転落災害は全国的に増加しています。その対策のための優れた器材を開発されています。



5 社会福祉法人 寿光会 保健衛生業 従業員規模 100～299 島根 **ブロック賞** (中国・四国・九州・沖縄ブロック)

安全パトロールによる職場内の環境整備



毎年、残念ながら職場内での転倒による労働災害が続いております。事故発生後に、検討委員会を開催し対処してきました。令和元年度より、衛生委員会の主体により「職場内の安全パトロール」を実施し、複数の視点でパトロールをすることにより「職場内の転倒の可能性のある危険個所の改善」を事前にできるようになりました。職場内の整備だけでなく、転倒しない健康づくりへの取り組みもはじまりました。安全パトロールを実施したことをきっかけとし、管理者が率先して4S活動（「整理」「整頓」「清掃」「清潔」）の促進に努めています。

安全パトロール

- ★複数の視点
 - 施設長（管理者）
 - 衛生管理者
 - 衛生委員会メンバー
- ★労働災害現場の確認
- ★危険個所の把握及び改善



ライトの設置



マットを敷く



転倒をしない健康づくり

- ★県や市主催の健康づくり活動
- ★ウォーキングイベントへの団体参加
- ★万歩計の貸し出し
- ★職場内でのラジオ体操の実施



積雪の注意喚起



すべらない靴の支給



ポイント

保健衛生業での「安全パトロール」は、先進的な取組です。



6 株式会社ササキ 製造業 従業員規模 100～299 山梨 ブロック賞 (東海・北陸ブロック)

ベテランず 体力チェック 若い者には負けない！！



経緯としては、■2020年2月 厚生労働省→エイジフレンドリーガイドライン（高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）を策定

基づいて、■2021年1月 社長→エイジフレンドリー 高齢労働者の安全と健康確保に関する宣言

そこで、■DEIチームと安全衛生委員会で働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場づくり、体力状況の把握のために【体力チェック】毎年実施

■転倒等リスクを自己認識する企画「意外とできた」と安堵する人や「こんなにできないものか」と落胆する人など、結果は様々ですが、毎回楽しく実施しています。



結果を展開



3 年未満に
健康と福祉を
自発的に
早朝
昼休み
仕事終わり
を活用して
運動！

参加者は平均データを参考に自身の結果を実感→高齢者の職場事故0件継続中

項目	実施結果平均	評価平均	2021年	評価	2020年	評価
2ステップテスト(m)	303.5	4.6	289.5	4	260	4
座位ステップングテスト(回)	38	3.3	33	3	32	3
フランクショナルリーズ(m)	45.80	4.7	56.7	5	46	5
階梯片足立ち(秒)	13.76	2	10.73	2	9.37	2
階梯片足立ち(秒)	86.12	4	105	4	109	4

※1 身体差があるので、参考までに。

前年と比較して、体力維持の増進・向上につなげ、安心安全で快適な職場環境づくりに活かしています



社内設備で体力づくり

ポイント

「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」に基づく取組を着実に進めていただいています。

エイジフレンドリーガイドライン



7 株式会社ベisia 小売業 従業員規模 300～ 群馬 ブロック賞 (関東ブロック)

転倒防止は基本の「き」から～全員参加で守り合い～ Beisia

スーパーマーケットを中心に運営する弊社では、売場はもちろん、バックヤードにおける転倒事故が多数発生。従業員の高齢化とともに、ちょっとした転倒であっても骨折等の大怪我につながるケースが発生しており、店舗において安全に働いてもらえる環境づくりが急務となっている。

前提として、転倒災害の起因は『人』であり、①従業員が多ければ多いほど発生可能性が高くなる、②職場では誰か1人が注意すれば防止できるものではなく、全員が理解し注意する必要があること、の2点を全店長に教育。厚生労働省の「職場安全サイト」を参考に、各店で各部門従業員リーダーを任命し、「危険マップの作成」「ステッカーの活用」「注意喚起活動の継続」を中心に取り組み。店長主体から従業員主体の取組みにすることで、職場内での自然な声かけにつなげた。各店舗で、従業員が安心・安全に働けるよう、誰かが「注意すれば良い」のではなく全員が「注意できる」環境になるよう仕組化を心がけている。



リーダーによる危険マップの作成。作成時は、ポストイットを活用し意見だし→最終的に一言でまとめたマップを作成し事務所へ掲示。



ステッカーに記載する文言は、各店舗オリジナル。従業員自身が考え、ステッカーに記入、危険箇所へ貼り付けの上注意喚起を実施。



ステッカーを貼るだけでなく、リーダーを任命することで従業員間でも転倒防止の意識向上につなげている。

ポイント

転倒災害は、多くの方が「他人事」だと思われています。全ての方が転倒災害を「自分事」として意識していただけるような取組となっています。



8 株式会社平和堂 小売業 従業員規模 300～ 滋賀 ブロック賞 (近畿ブロック)



油の持ち出し対策！オリジナル「シューズブラシ」開発

デリカ部門ではフライ作業が多い為、靴裏に油分やバター液が付着することで、売り場やバックルームにも油が持ち出され、転倒の一因となってしまいます。そこでデリカシューズ裏に付着した油分や汚れを除去し、売場やバックルーム床の清潔化、デリカシューズの衛生管理維持、**お客様や従業員の転倒防止のために、独自にブラシを開発**しました。

【従来のブラシ】

表面用 靴裏用

立ったまま片足を上げて使用するか、靴を脱いで使用する必要がある。

【新デリカシューズブラシ】 2022年2月全店導入

靴を履いた状態で、足を動かして汚れを落とします。手すりをつけているので、安全に使用できます。社内の関連部署メンバーが集まり、ブラシメーカー様と改良を重ねました。

ポイント
 転倒の原因となる油分を、安全かつ負担なく除去できる優れた器材を開発されています。



9 株式会社平和堂 小売業 従業員規模 300～ 滋賀 ブロック賞 (近畿ブロック)



「転倒アンケート」で危険箇所を発見

平和堂では、労災対策の効果もあり、ここ数年労災事故件数は減少傾向ですが、転倒事故は減っていません。**転倒事故は所属・場所・原因が様々であるだけでなく、年齢により重症度が左右されやすい**ため、幅広い対策が必要となります。そこで、2022年度はじめての試みとして「**転倒アンケート**」を全店で**一斉に実施**しました。**従業員一人ひとりの感受性の向上と、店舗での対策、会社全体の対策**につなげ、より風通しが良く、安全で働きやすい職場環境を目指します。



⇒回答数5,336件を店舗にフィードバックし、危険箇所の特定と改善を進めた結果、「転倒しそうまたは転倒した」回答2,839件のうち、2,132件の場所の特定が進み、1,730件について店舗で改善が進みました。店舗で改善が困難な事案は本部で対策を検討しています。

【転倒アンケート】改善報告まとめ

アンケート回答数	転倒の特定について		店舗からの改善報告			
	回答数	割合	改善済	改善中	未実施	未定
全店舗	5,336	2,839 (53.2%)	2,132	1,730	398	0
店舗別						
滋賀一店	104	207 (19.9%)	100	1	2	0
滋賀二店	718	400 (55.7%)	221	179	0	0
滋賀三店	917	513 (55.9%)	353	160	0	0
滋賀四店	814	428 (52.6%)	225	203	0	0
滋賀五店	2,080	1,215 (58.4%)	371	844	0	0
滋賀六店	466	266 (57.1%)	107	159	0	0
滋賀七店	109	50 (45.8%)	19	31	0	0

「smartHR」及び「店頭ポスター」

ポイント
 転倒を事業所（店舗）個別の問題とせず、企業全体でリスクを調査され、有効な対策を全社的に講じられています。

10

キヤノン株式会社

製造業

従業員規模
300～

東京

グループ総力の知恵を共有し 転倒災害防止！



全国複数事業所をもつキヤノングループでは、製造/開発/販売等 事業体は様々あるが、「転倒災害」が多いことが共通課題であった。そこで、グループ全体で「転倒災害防止キャンペーン」を実施。段差や滑りやすい箇所等 会社設備の不備による転倒災害を防止することをターゲットに絞り、改善活動を実践した。

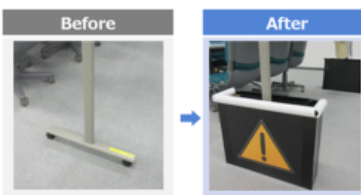
<施策概要>

安全スタッフや職場で**事業所内を巡視して危険箇所を抽出**し、改善活動を実施。改善事例を集めてイントラサイトに掲載し、**他事業所に事例を水平展開**している。年間表彰制度を導入し、事業所のモチベーション向上にも繋げている。

社内イントラサイト (250事例)



(改善例)
ホワイトボードの脚に**踏み防止用注意喚起カバー**を設置



自分の事業所でも取り入れよう！



他事業所スタッフ

【結果】転倒災害の件数をグループ全体で前年と比べ“半減”を達成することができた

ポイント

改善の手法に、設計者のセンスが光っています（転倒要因となる障害物をただ見えやすくするだけでなく、つまずきにくくする）。是非皆様も参考にしてみてください。

11

社会福祉法人恩賜財団
東京都同胞援護会

保健衛生業

従業員規模
300～

東京



ほっとできる場所こそ 転倒災害防止の徹底を！

介護施設での転倒は従事者だけでなく利用者様も巻き込み重大事故に繋がります。従事者はあらゆる状況を想定してひとつでも多くの危険因子を取り除く努力をしています。浴室や居室など「心身ともにほっと一息安らげる環境」だからこそ、事故予防対策の徹底を行っています。

転倒の危険性[外的要因]

- ・1mm程度のわずかな段差でも
- ・濡れた床面では危険性大
- ・利用者様も巻き込む可能性あり



重篤化のリスク 大

浴室「危険ポイント」を予見、回避、削除



取組
外的要因、内的要因含めて、一つでも多くの危険要因を取り除く。

最善の予防対策を徹底することで心身共に**ほっと一息安らげる環境**を提供することができる。



結果
転倒による業務災害 **減!**
利用者の笑顔 **増!**
従事者の笑顔 **増!**

ポイント

利用者の安全のためにまず従業員の方の安全を確保するという考え方が、サステナビリティの観点からも重要です。

12 株式会社万代 小売業 従業員規模 300～ 大阪

労働災害(転倒災害)の未然防止

現状の問題点

全事業所における労働災害の発生は、個店別の対応や再発防止対策に留まり自店以外の発生傾向や、発生原因の究明、発生を未然に防ぐための注意点等が、全社レベルでの共有には至らず、同原因による災害が再発する傾向にある。災害発生時の原因や状況等を、全店で共有できれば同一災害の発生を防ぎ、ヒヤリハットの時点で、対策できるようになる。社内Webを活用し、注意喚起の発信(労働災害発生状況等)を行っているが受達性が低く、発信力が弱いのは否めない状態であった。増加傾向にある転倒災害を防ぐ手段としても、「転倒」に繋がる危険個所の情報を全店に周知し、災害が発生する前に対策を講じる術が、周知徹底できない状態であり店舗への発信ツールの改善が必要であった。

問題点に対する取組内容

現在、4名の産業医による全店舗現場巡視を月次毎で実施しており、巡視結果の報告は、毎月第3月曜日の「中央安全衛生委員会」にレポート提出し、委員会メンバーで報告内容を討議。転倒等の危険個所は注意喚起として店舗に発信している。また、店舗で対応可能な設備面の修復やマテハン機器の修理等については、関係各部署が問題点を持ち帰り、自部署にて対策を講じた上、委員会に共有している。

危険個所の「見える化」推進

- ①産業医職場巡視報告のビジュアル化
産業医職場巡視で、産業医が「気になる点」「危険個所」「法令違反状況(消防器具の設置等)」を全てカメラで撮影し、巡視レポートを作成。また、好事例(改善事例も含む)収集も追加し、同仕様での報告に変更
- ②月次の中央安全衛生委員会にて、ビジュアルを確認しながらの討議。以前は文章レポートであったため、イメージが掴みにくい内容等が、あったが、画像で確認できるようになり、危険個所や整理整頓状態等が一目瞭然となった。また好事例(指摘後の改善例)についても同様である。
- ③関係各部署が改善策を講じるが画像があるため、対応のスピードアップが図れる。
- ④「見える化」の店舗発信
月次毎に報告があがった危険個所等の事例と好事例を画像のまま店舗に発信毎月1日に、同月実施の店舗安全衛生委員会の資料として、社内Webに掲載している。
- ⑤店舗は、月次の安全衛生委員会で④の資料をもとに、自店の危険度チェックや好事例の展開を実施する。また、各種店内ミーティングに於いても④資料を活用し、パートナー社員への防災防止教育や転倒災害防止対策のツールとして活用している。
- ⑥好事例(改善例)も同時発信することにより、関心度が向上し労災事故撲滅への意識改善にも繋がっている。



産業医職場巡視報告 (安全衛生委員会) 2022年10月

～あなたのお店は大丈夫?労働災害が発生し易い「危険個所」を把握しましょう～
【壁も、床も、タイル、床裏にマテハンが隠れてお困りしています!】

● A店 ● B店

※産業医コメント
A店はマテハンが床裏に隠れてお困りしています。床裏に隠れてお困りしています。床裏に隠れてお困りしています。

※産業医コメント
B店は床裏に隠れてお困りしています。床裏に隠れてお困りしています。床裏に隠れてお困りしています。

産業医職場巡視報告 (安全衛生委員会) -好事例(改善例)- 2022年10月

～「好事例」(改善例)は、全店で水平展開・情報、タイル等で広げましょう～

● F店 ● G店

※産業医コメント
F店は床裏に隠れてお困りしています。床裏に隠れてお困りしています。床裏に隠れてお困りしています。

※産業医コメント
G店は床裏に隠れてお困りしています。床裏に隠れてお困りしています。床裏に隠れてお困りしています。

ポイント

労働災害防止のための基本的かつ重要な手法である、「見えにくいリスクの「見える化」」を基礎として、企業として全ての店舗の安全衛生水準の向上にコミットされています。

13 深田サルベージ建設株式会社 製造業 従業員規模 300～ 大阪

啓発DVDやオリジナル漫画による転倒災害防止

当社は、海上での作業が多く、転倒による骨折などの災害だけではなく、海中転落など重大事故につながる可能性があります。当社内でのヒヤリハット・気がかり情報では転倒災害に関する提出が一番多く、その内容を分析、重点課題を抽出して、転倒災害防止に重点的に取り組んでいます。



ポイント

ヒヤリハット情報をしっかり集約し、DVDや漫画といった誰にも分かり易いツールで啓発を図られています。労働安全衛生の確保はSDGsの重要な要素です。

取組事例 腰痛予防部門



1 SOMPOケア株式会社 保健衛生業 従業員規模 300～ 東京 ゴールド賞

ご入居者の残存能力の活用により介護職の腰痛予防・負担軽減へ ～リハビリ専門職によるアセスメントがポイント～



当社ではリハビリ専門職（理学療法士）がホームのご入居者に対して、能力評価・アセスメントを実施し、自立支援・残存能力の活用の視点から介助方法を提案している。

提案をもとに介護手順書を作成し、現場スタッフに展開することで介護職の腰への負担軽減がみられた。

そんぼの家 小平仲町の事例 A様 要介護5



前方から抱える形で移乗介助を行っているが、腰への負担を感じている介護職が多いとの相談あり。

理学療法士によるアセスメント

・座位は安定しているが、両足の筋力が低下している。
・立ち上りは難しい。
・手すりなどにつかまり前かがみの姿勢になることで、お尻をわずかに浮かせられる程度の筋力は残っていた。



提案と結果



・A様の残存能力を発揮し、かつ介護職に負担の少ない、**後方からの介助方法**を提案。
・介護手順書を作成し、現場スタッフに展開。

職員全員がA様の能力を把握することができ、以前より移乗介助が楽になったとの声がかげられるようになる。A様も残存能力を活用することで以前より動作がスムーズになっている。

今後の展望：リハビリ専門職が介入することで、ご入居者の自立支援を推進すること、介護職の腰痛予防が期待される。一方で、リハビリ専門職の人員確保が難しいことを踏まえ、リハビリ専門職が遠隔でアセスメントを行う間接的な介入を模索しながら、多くのご入居者の自立支援を推進すること、介護職の腰痛という社会課題の解決につなげてい。

ポイント

利用者の自立支援と、職員の方の負担軽減や労災防止を両立させる素晴らしい取組です。



2

株式会社にしき堂

製造業

従業員規模
300～

広島

シルバー賞

原料袋の軽量化と腰痛ベルトで腰痛予防！



工場内での腰痛事例

広島でもみじ饅頭を製造している弊社では、以前より原料袋などの重量物を持ち上げる際、ギックリ腰（急性腰痛症）になる事例が発生していた。



対策

SAFE
1

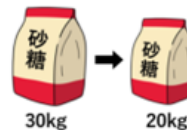
原料袋の軽量化

原料メーカーに相談し、腰への負担が大きかった砂糖類の大部分を一袋あたり**30kg→20kgに軽量化！**

SAFE
2

腰痛ベルト支給

重量物を扱う従業員に**腰痛ベルト**を支給し、作業中に着用するよう徹底！



腰痛予防はもちろん、思わぬ効果も！

原料袋軽量化にあたり内容量を減らすと運搬回数が増え、作業効率が悪くなる懸念があったが、**腰への負担が軽くなりテキパキ動けることでかえって効率がよくなった。**

ポイント

「職場における腰痛予防対策指針」では、人力で重量物を取り扱う作業をする場合の重量は、男性は体重の概ね40%、女性はその60%程度（24%程度）とすることとされています。調達先と相談され、原料納入時点でこれが担保されるようにしたことはまさに「従業員の安全のための素晴らしいaction（SAFE）」です。

職場における腰痛予防対策指針



3

健祥会グループ

保健衛生業

従業員規模
300～

徳島

ブロック賞

(中国・四国・九州・沖縄ブロック)

腰痛対策 ノーリフトケア&腰痛予防体操



健祥会グループは職員の健康維持増進のために、腰痛予防対策を重点項目として継続的に取り組んでいる。代表的な取り組みは下記の二つ。令和4年度は5月を腰痛予防月間と定め研修会等を実施、職業病ともいわれる腰痛に積極的な対策を講じている。

- ①ノーリフトケア～抱えない介護～ 身体に負担のかからない介護方法へ取り組み、利用者様への安全安心にも繋がっている。
- ②腰痛予防体操 腰痛予防のために身体の使い方を動画でわかりやすく説明。セルフケアにも活用。

ノーリフトケア
～抱えない介護～

スライディングシートやリフト、介護ロボットを正しく活用しノーリフトケアに取り組んでいる

利用者様にとっても職員にとっても安全・安心に繋がっている



腰痛予防体操

～健祥会グループ
動画研修サイトより～

専門学校健祥会学園理学療法学科教員による説明付きの腰痛予防体操はいつでも視聴可能

現在、外国人財向けに英語・インドネシア語・ベトナム語版を作成中



①身体の使い方～腰痛予防～



②-1腰痛予防体操【立位編】

ポイント

- ・第14次労働災害防止計画にも定められている“ノーリフトケア”を着実に進めていただいています。
- ・外国人労働者向けの教材作成は先進的です。



4

医療法人豊成会

保健衛生業

従業員規模
50～99

大阪

ブロック賞
(近畿ブロック)

『抱えない介護』の実践で安心、安全に働ける職場を目指す



職場での腰痛事例

介護、看護のお仕事ではベッド⇄車椅子への移乗介助を1日に何度も行うことで、腰痛が職業病のように蔓延してしまっている状況です。実際に腰痛による休職、労災、退職に繋がり、無理をすると生活に支障が出てしまうケースもあります。

移転を機にすべての居室と脱衣室に天井走行リフトを整備することで『抱えない介護』を実践してもらい、腰痛発生のリスクを大幅に軽減。同時に腰が楽になるちょっとした工夫(高さを変える、屈まないでできる)などを理学療法士がスタッフに指導することで腰痛の訴えや悩みが聞かれなくなりました！

天井走行型リフトのメリット

- ・一人で安全な介助が可能
- ・どのようなベッドでも使用が可能
- ・小スペースで使用が可能
- ・最短距離での移動が可能
- ・保管スペースが不要
- ・保管場所との行き来が不要



▲天井走行リフト本体



▲入浴時にはより正確な体重測定ができるため、リフト本体に体重計を装備。



▲リフト用体重計

入浴時には、より正確な体重測定ができるため、リフト本体に体重計を装備。レールは、隔から隔まで面移動が可能なルームカバリングシステム。

ポイント

第14次労働災害防止計画にも定められている“ノーリフトケア”を着実に進めていただいています。



5

社会福祉法人宣長康久会

保健衛生業

従業員規模
100～299

富山

ブロック賞
(東海・北陸ブロック)

社会福祉法人 宣長康久会 ささづ苑



介護×テクノロジー＝腰痛予防

介護＝腰痛のイメージを変えたい！

当法人では最先端のテクノロジーを使用することで、腰痛予防に取り組んでいます。福祉用具、介護ロボットを有効活用して、男女、年齢関係なく、職員が安心して長く働くことができる環境をつくり職員、入居者様双方の安全・安心・安楽に努めています。

2012年以降 当法人の腰痛による離職0継続中！



ベッドが車椅子に変身！



テクノロジーで移乗がラクラク！



ロボットが見守り！

ポイント

介護作業における労働災害防止のためには、本取組のように、機器や設備の適切な利用も有効です（中小事業者は、導入のため「エイジフレンドリー補助金」がご利用になれます。）。また、それは人材の定着にも資するものです。

エイジフレンドリー
補助金



6 社会福祉法人あいの土山福祉会 エーデル土山 保健衛生業 従業員規模 100～299 滋賀 ブロック賞 (近畿ブロック)

腰痛ゼロを目指せ！

移乗介助や入浴介助において腰部に負担がかかり、腰痛を引き起こす要因となっており時には確確に繋がる可能性もある。当施設では人力での移乗介助は原則行わず、最新の介護機器を多数導入し、腰痛ゼロを目指している。機器導入後、腰痛を理由にした離職はゼロとなっている。

Device 1 電動移乗リフト

電動リフトを使用した移乗介助を徹底。人力で抱えることはしません。(10台以上整備)

Device 2 自動体圧分散マット

モルテン社製。電気で自動的に体圧分散するので人力での寝返り介助を行わなくても良い。

Device 3 アクアタイザー

ウォーターベッド型マッサージ器。休憩中等、使用しています。

社会福祉法人あいの土山福祉会 et. (株) Tetsuya



ポイント

介護作業における労働災害防止のためには、本取組のように、機器や設備の適切な利用も有効です（中小事業者は、導入のため「エイジフレンドリー補助金」がご利用になれます。）。

エイジフレンドリー補助金



7 社会福祉法人創世福祉事業団 保健衛生業 従業員規模 50～99 福島 ブロック賞 (北海道・東北ブロック)

環境調整と理学療法士による腰痛予防対策

社会福祉法人創世福祉事業団 介護老人保健施設「聖・オリーブの郷」東館



1. 環境調整

厚生労働省の資料*によると、社会福祉施設での腰痛発生状況は、**移乗介助（入浴含む）**が64.7%と最も多くなっている。そのため「**電動ベッド**」、「**モジュラー型車椅子（肘当て跳ね上げ可）**」等を積極的に導入した。



2. 理学療法士による腰痛予防対策

福島県理学療法士会主催の「介護従事者を対象にした腰痛予防研修会」、内容は講義・実技・福祉用具の使用方法、**1日8時間の研修会**であり、**当施設から毎年2名程度**が参加し、終了後は報告書などでフィードバックをしている。また、**当施設リハビリ部長（福島県理学療法士会腰痛予防担当理事）**から**若手職員に同内容の研修**を行っている。

→【結果】過去3年間、腰痛による**重篤な労災事故は0**であった。



*職場における腰痛予防対策指針の改訂及びその普及に関する検討会報告書（H25.6.18 厚生労働省）

ポイント

腰痛や転倒の防止のための知識・技能を持つ理学療法士の力を、労働者の安全対策のためにも発揮していただいています。

8

本田技研工業株式会社
埼玉製作所

製造業

従業員規模
300～

埼玉

テーマ：「えっ、これだけ？」意識が変わる「腰痛予防」

本田技研工業株式会社 埼玉製作所


弊社従業員の約半数は、「腰痛」を訴え、そのうちの73%の方には、運動習慣がありません。従来より、「ストレッチの必要性」を健康推進室として発信するも、定着は図れず、現在に至っています。

コロナ禍で積極的に運動ができなくなったとの声も多し中、「職場でも」「手軽に」「継続」をキーワードに、公式部のプロ選手から、社内イントラネットにて情報発信することで従業員自らが、「自分事」として捉え、実践に繋がりました。従業員からは「えっ、これだけでいいの?」「これなら続けられる」といった簡単な内容に、驚きや継続化が期待できる声も届いています。また、「プロが言っているから、やってみる」や、「プロが教えてくれる機会が貴重」といった意見も聞かれ、従業員自ら取り組み意欲が確認できています。イントラネットの閲覧数も徐々に伸びています。

また、情報発信のみならず、レクリエーション部門とも連携し、3か月間の腰痛予防支援企画を現在推進しています。ここでもプロの力を借り、多様な働き方に追従できるようオンラインでの支援を行っています。


本取組に対する効果は、次年度以降の健康診断時の従業員の問診にて確認していきます。

陸上部編
『腰痛知らず 正しい姿勢』



食堂TVやポータルサイトにて動画放映

野球部編
『インナーマッスルを鍛え腰痛予防!』



**オンラインでの
腰痛予防継続支援**



ポイント

プロのアスリートによる訴求力を活用して、腰痛予防のための社員の方の行動変容を狙っています。

9

株式会社ヤオコー

小売業

従業員規模
300～

埼玉

タイトル：作業動作に合わせて考案したストレッチ「ヤオコー体操」

株式会社ヤオコー

<応募事例資料作成要件>

1. 取組内容およびその効果

ヤオコーでは2016年4月より、ドクター・トレーナーの友広隆行氏、予防医学研究者・博士の石川善樹博士監修オリジナル体操「ヤオコー体操」を始めました。お店で動きに合わせて考案したストレッチで、毎朝朝礼時に欠かさず行っています。ヤオコー体操は、メンバーさんのさまざまな作業の動きに合わせて専門家に開発していただきました。仕事だけでなく日常生活にも支障を及ぼす「腰痛」・「肩こり」・「腿鞘炎」・「足のむくみ」などの症状を予防・軽減する効果が期待できます。作業で負担がかかる筋肉や関節を毎日ストレッチすることで、単なる仕事のウォーミングアップとしてだけでなく、筋肉や関節を痛めにくい丈夫な身体をつくります。

2. 応募事例に関するイラストや写真



ヤオコー大運動会での体操の様子



ポイント

企業オリジナル体操（開発）も人的資本投資であり、企業価値の向上にも繋がります。

10 社会福祉法人杏樹会 特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館 保健衛生業 従業員規模 50～99 埼玉

～介護の標準化と腰痛予防を考えた3つの取り組み～

=腰痛予防部門=



社会福祉法人 杏樹会 特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館

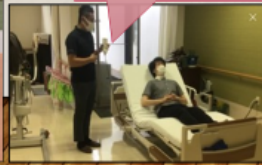


介護保険制度変更により、特別養護老人ホームではより重度の介護が必要な方への支援が求められる事となりました。その支援においてスタッフのスキルに頼るのではなく機器やアイテムの導入と使用の定着により介護の標準化を目指して開設より3つの取り組みを行ってきました。**リフトを用いた移乗介助の標準化、スライディングシート使用による体位交換の標準化、アシストリフト装着浴槽使用による入浴介助の標準化**です。そして開設から7年の間取り組んだ成果として介護の標準化により施設における腰痛による労働災害の発生をゼロとしています。

バッテリー完備で自走式、居室や浴室等、使用場所を限定しない移乗用リフトを使用し移乗介護を標準化しています。



リフトの導入定着の取り組みとしてメーカー講習員による定期的研修を設け、その研修動画を撮影し爽風館職員YouTubeへの限定公開でOJTとして活用しています。



高い平均要介護度では体位交換の実施頻度も多く、腰や体に負担がかかります。体位交換時に少ない摩擦抵抗で比較的安易な力で実施できるスライディングシートを必要な方すべてのベッドの足元ボードポケットに配置し職員が標準的に使用しています。



全館で9か所の浴室の内6か所の浴室が設計当初は一般的な湯船のみでした。そこを、自立型アシストリフト付きADL浴槽に6台変更しています。その他サポート型中間アシストリフト付き浴槽2台、電動リフト付き特殊寝台機械浴槽1台とあわせて、全9か所の浴室という不安定で滑りやすい場所ですできるだけ職員が持ち上げる作業をしないように安全に配慮した浴室づくりを実施しました。全ての浴室の変更には6年ほどかかって実施しています。



ポイント

介護作業における労働災害防止のためには、本取組のように、機器や設備の適切な利用も有効です（中小事業者は、導入のため「エイジフレンドリー補助金」がご利用になれます。）。

エイジフレンドリー補助金



11 社会福祉法人恩賜財団 東京都同胞援護会 保健衛生業 従業員規模 300～ 東京

からだをほぐして腰痛予防 +1(プラスワン)

普段の腰痛予防対策にプラスして、介護従事者に自身の状態、取り組み状況を「見える化」効果的なセルフケアを実践しています



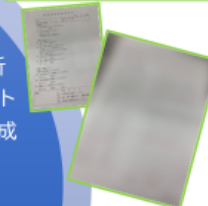
健康(腰痛)体操時間の確保



PDCAサイクルで腰痛予防対策を習慣化!

- ③ 腰痛予防対策
 - ・健康体操の実施
 - ・腰痛体操の実施
 - ・専門職の助言指導
- ① 発生要因の分析
 - ・アセスメントシート
 - ・チェックリスト作成
 - ・腰痛検査の実施

腰痛に関するチェックシート



スライディングボードを常備



持ち上げない介護の実践

② 危機回避低減措置の検討・実施

- ・腰痛ベルト・サポーター貸与
- ・スライディングボードの活用



腰痛ベルト・サポーターの貸与

取組2

【+1(プラスワン)】

- ①セルフケアの状況を見やすく紙面化
従事者・管理者・産業医等で情報共有
- ②業務に腰痛予防体操を組み込み実践

プラスワン +1

より効果的なセルフケアの実現

結果

腰痛による業務災害 **減!**
介護=腰痛イメージ **払拭!**
従事者の笑顔 **増!**



ポイント

保健衛生業で「リスクアセスメント」(労働安全衛生法28条の2)に取り組んでいたのは先進的です。

12

社会福祉法人同慶会
特別養護老人ホーム 日野サザンポート

保健衛生業

従業員規模
300～

神奈川

腰痛予防促進プロジェクト「腰痛(コシータ) to 腰楽(コシラック)」

社会福祉法人
同慶会

1. 特別プロジェクト「腰痛 to 腰楽」

これまで、昼食休憩時にスタッフ個々が任意で実施していた腰痛体操。ノーリフト（抱え上げない介護）の環境整備として、スライディングボードの用具導入等、腰痛リスク軽減へ取り組んで来ましたが、スタッフの腰痛予防に対する意識はそれほど高くはありませんでした。

そこで、今年度より施設全体で取り組む「スタッフが幸せ＝ご入居者も幸せ」を合言葉にした特別プロジェクト「腰痛(コシータ) to 腰楽(コシラック)」を立ち上げ、楽しくポジティブな雰囲気大切に全スタッフが就労開始時に腰痛体操（「これだけ体操」ポスター【※1】）を各スタッフルームに掲示を実施しております。

体操にかかる時間も6秒（3秒×2回）と業務への影響もなく、誰でもどこでも出来る手軽で簡単な取組みである為、休日などプライベートでも実践しているスタッフもいる等、就労開始時の度に腰痛体操をする習慣が定着した現在、スタッフ個々の腰痛予防への意識が高まり、結果として、安心安楽な職場環境の整備に繋がっています。

2. 各部署へ掲示しているポスターや取組みの様子

- ①これだけ体操ポスター（PDF）【※1】
- ②就業開始時のこれだけ体操 実施中の様子（写真画像）

①これだけ体操 ポスター



②就業開始時のこれだけ体操 実施中の様子



（日勤帯 勤務開始時）



（夜勤帯 勤務開始時）



（事務所 勤務開始時）

ポイント

誰もが前向きに継続して体操等に取り組める仕掛けを構築されています。

13

医療法人財団五省会

保健衛生業

従業員規模
100～299

富山

腰痛予防ラウンドで、栄養部門の腰痛予防改善！ 

腰痛予防推進委員が食材搬入時の作業改善を提案

【問題点】

- 床に置かれた箱から、搬入物の仕分けや詰め替えを行う作業や最大10kgの重量物を抱え・運ぶ作業が腰部に負担がかかっていた。



- 限られた職員が行う業務のため、一人にかかる負担が大きい。
＜アンケート結果から＞
職員A 腰痛あり。痛みの評価 VAS：70/100（中重度の痛み）
職員B 腕・肩の痛みあり

【改善ポイント】

- ＜環境調整＞
キャスター付き2段テーブルを搬入場所に設置。
※台の高さは腰の高さとする



- ＜作業の見直し＞
搬入物の詰め替えや仕分け作業をテーブル上で実施。
キャスター付テーブルの為、仕分け後、ワゴンとしても活用でき、重量物を食品庫へ持ち運ぶ距離を短縮した。

改善後の現場からの声

- 職員A：「2段テーブルを新調したことで、荷物を持つての移動距離が少なくなった」「棚の高さも腰の位置に調整され、持ち上げる作業がなくなり、以前より楽になった」 ※職員Aの腰痛はまだ残存しているが、痛みの程度はVAS：50に軽減。
- 職員B：「ワゴンの高さがちょうど良く、腰の負担がなくなった」 ※痛みなし。

ポイント

「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」にも定められている重量物取扱いへの対応策として「不自然な作業姿勢の解消のため作業台の高さや作業対象物の配置を改善すること」を着実に行っていただいています。

エイジフレンドリー
ガイドライン




14

株式会社ササキ

製造業

従業員規模
100～299

山梨

車ジャッキ  でらく楽！ 膝・腰痛予防のKAIZEN SASAKI

複数作業者が使用できるように、外皮剥き機は共有の作業台に設置。
しかし、背が低い人は背伸びで不安全作業に、背が高い人は腰、膝痛に。

身長差に関係なく腰痛、膝痛防止に、
さらに、作業効率向上に繋がる
KAIZENになりました。



ポイント

「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」にも定められている重量物取扱いへの対応策として「不自然な作業姿勢の解消のため作業台の高さや作業対象物の配置を改善すること」をうまく行っていただいでいます。

エイジフレンドリー
ガイドライン

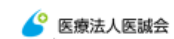
15

医療法人医誠会

保健衛生業

従業員規模
300～

大阪



人力による体位変換をなくし、職員の負担軽減を図る！

近年、老人保健施設においては介護度の高い全介助を要する利用者が増加。慢性的な人員不足、職員の年齢層の上昇もあることから、業務の機械化・自動化に力を入れている。

中でも体位変換は体勢を中腰にせざるを得ない状態となるため、職員の負担が大きい介助の一つになっていた。

そこで、自動寝返り支援ベッドを103台（法人全体では318台）、体位変換機能付きエアマットレス5台（法人全体では1450台）を導入。人力での体位変換ゼロを目指し負担の軽減を図っている。



その結果

- 2時間毎の体位変換を自動でしてくれるため、ポジショニングと確認だけで済み、身体的な負担の軽減だけでなく、効率化にも繋がった。
- 夜間の体位変換は睡眠の妨げになることあったが、ゆっくりと時間をかけて傾くため、途中覚醒が少なくなり、サービスの質も向上した。

ポイント

介護作業における労働災害防止のためには、本取組のように、機器や設備の適切な利用も有効です（中小事業者は、導入のため「エイジフレンドリー補助金」がご利用になれます。）。また、それは作業の効率化にも繋がります。

エイジフレンドリー
補助金

16

社会医療法人ペガサス

保健衛生業

従業員規模
300～

大阪

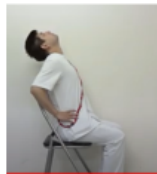
医師・理学療法士、作業療法士監修 みんなでペガサス腰痛予防体操！！



看護師や介護職員などの職業病ともいえる腰痛の予防に努めることで、職員の健康のみならず、利用者の安全確保、看護・介護・保育の質の向上や離職防止にもつながるものと考え、職員向けに「ペガサス腰痛予防体操」を医師、理学療法士、作業療法士の専門資格を持つ職員が中心となり、検討を行い、簡単にできる腰痛予防の体操をつくった。



「ペガサス腰痛予防体操」とし、動画を撮影し、職員向けへ公開し、多くの職員が実施するように促した。



2022年7月～9月の期間においては、腰痛は0件（前年度1件）となり、効果があったものと思われる。動画の再生回数は400回を超えており、たくさんの職員が視聴し、腰痛予防に向けた啓発ができました。職員にアンケートを実施し、「継続してできそう」「動画を見ながらつづけることができます」「身体がスッキリしました」など意見があり、継続して実施ができるものでもあるので、一定の効果があり、今後も継続して、腰痛予防の啓発に努めていく。

ポイント

職員の方が持っている高度な専門性を労働安全衛生の取組に活用され、また、様々な職種の方が対策に関わることで、全ての方が腰痛の問題を自分事としてとらえて取り組める環境を実現されています。

17

JFEスチール株式会社
西日本製鉄所（倉敷地区）安全健康
室ヘルスサポートセンター

製造業

従業員規模
300～

岡山

事業所内で腰痛予防！ ～職場で・健康診断で・当センターで～

JFEスチール(株)
西日本製鉄所

2003年に2つの製鉄所が統合しJFEスチールが誕生：当時休業原因で最も多かった筋骨格系疾患（腰痛）対策として下記の体制を構築している

取り組みの背景

◆私傷病の休業原因
統合の頃、腰痛を中心とした筋骨格系疾患が多かった

	2002年 n=3,736*	2003年 n=3,495*	2004年 n=2,276*
筋骨格系疾患	38 (10.12)	37 (10.71)	38 (11.60)
呼吸器	20 (5.33)	15 (4.28)	15 (4.48)
消化器	18 (4.79)	33 (9.55)	22 (6.72)
新発症	17 (4.53)	15 (4.34)	20 (6.11)
新発症	14 (3.73)	13 (3.78)	15 (4.58)

*は7月1日の在籍労働者数
上段：件数 下段：（ ）休業件数率

疾患別休業日数と日数率（連社員）

	2002年 964,214*	2003年 777,270*	2004年 769,585*
筋骨格系疾患	913 (0.95)	798 (0.51)	1,292 (1.68)
新発症	884 (0.72)	349 (0.45)	339 (1.72)
腰痛	524 (0.53)	608 (0.78)	477 (0.62)
消化器	481 (0.50)	416 (0.54)	281 (0.37)

*はのべ労働日数
上段：日数 下段：（ ）休業日数率

ポピュレーションアプローチ

各職場で行う1次予防（04年）
「アクティブ体操®」part I
8：50～毎日実施 10種目4分30秒

動画

・作業を調査し、負担となる部位の緊張緩和及び運動指導で腰痛改善効果のあった種目を参考に開発

健診で行う2次予防（04年）
腰痛リスクテスト2種目

◆座位体前屈
脊柱・股関節・足首の柔軟性

◆上体起こし
体幹・股関節筋力

独自の5段階評価でフォロー
評価3以上「維持・安全」特になし
評価2「注意域」：運動指導
評価1「危険域」：運動指導後再測定や面談等

ハイリスクアプローチ

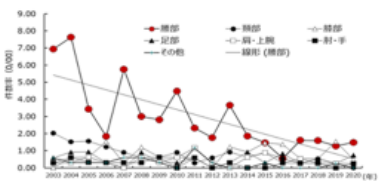
当センターで運動担当者が行う3次予防（03年）
個別運動指導による柔軟性や筋力、作業姿勢の指導改善例

2週間で7.8cm改善

事業所内で誰もが無料で利用・相談できる

筋骨格系疾患
部位別の発生件数率推移
2003年～2020年（倉敷地区）

腰痛が原因による休業件数率が低下




ポイント

腰痛等の筋骨格系疾患の防止のためには、作業管理だけでなく、労働者の方の健康管理のアプローチも不可欠です。そのための実効的な仕組みを構築し、既に約20年間も運用されています。

18 社会福祉法人IGL学園福祉会 保健衛生業 従業員規模 300～ 広島

○介護技術指導プロジェクトチームの発足 ～ノーリフトケアへの取組み～

社会福祉法人
IGL 学園福祉会 

○ 介護現場における安全衛生の課題と取組

介護現場においては、寝返り介助や車いすへの移乗介助など、頻繁に抱える動作やひねり動作が発生しやすく、近年は高齢化・要介護度の重度化により以前より負担が大きくなっていることから、腰痛が発生しやすい環境にあります。

そうした中、介護者が「押す」「引く」「持ち上げる」「運ぶ」「ねじる」といった動作を行わない、「ノーリフトケア」の考え方を導入し、介護者の身体的負担の軽減を図ることを目的として、介護技術指導プロジェクトチームを発足させました。

このプロジェクトチームでは、現場の困りごとなど、施設内外の情報を収集し、全体で取り組む介護技術テーマを決定し、テーマに沿った行動計画やマニュアルを作成して実践と評価を繰り返すPDCAサイクルを取り入れました。

具体的には、介護技術指導の勉強会を定期的開催し、介護技術の高い1人の指導者が数名のケアスタッフに技術指導を行い、指導を受けたスタッフが次は指導者として他のケアスタッフに技術指導を行うことで、施設全体の介護技術の向上を図っていきました。

こうした取組の結果、身体的負担を感じる職員の割合や離職率が大きく減少するなどの効果が現れました。

今後もこの取組を継続し、新入社員や介護未経験者、外国人労働者の育成を図り、「入居者の笑顔を守る仲間」を増やしたいと考えています。

身体的負担を感じる職員の割合が大幅に減少
87.5% → 12.5%
離職率の減少
20.0% → 7.3%

床走行式リフト



スライディングボード



ポイント

第14次労働災害防止計画にも定められている”ノーリフトケア”をしっかりと進めていただいております。成果を出されています。

19 社会福祉法人広島県同胞援護財団 保健衛生業 従業員規模 100～299 広島

リフトの導入～選択から導入時における取組み～

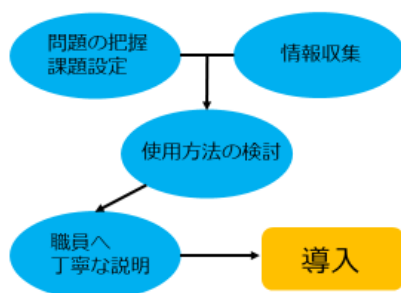


利用者をベッドから車いすへ移乗する際、体格のよい利用者の場合には2名で対応する必要があるが、以下の問題点があった。

- ・ 移乗するたびに、他の職員を呼ばなくてはいけない。
- ・ 職員の腰部への負担が大きい。
- ・ 職員と利用者の対格差によっては不安定になることがある。

リフトを導入することになったが、今までリフトを導入したことがなく、「リフトを使った方が時間がかかるのではないか」と反対する職員も多かった。

リフト導入のためのプロジェクトチームを結成し、スムーズに導入できるよう仕組み作りを行った。



- 問題の把握
ケアや業務の問題を把握し、課題を設定する。
- 情報収集（機器の選定）
デモ機を借りて実際に使用してみる。
- 使用方法の検討
自施設での使用方法・ルール作りを行う。
- 職員へ丁寧な説明
説得ではなく納得してもらう。
まずは核となる職員へ説明する。
- 導入
まずは1台導入し、使用しながら使用方法の修正を行った。現在は4台導入している。



今ではリフトがなくてはならない物になっている。

ポイント

第14次労働災害防止計画にも定められている”ノーリフトケア”を進めていただいております。導入のプロセスも参考になります。

取組事例

ウェルビーイング部門



1

株式会社カインズ

小売業

従業員規模
300～

埼玉

ゴールド賞

事故を未然に予見する！KYT活動（危険予知トレーニング）

【背景】

- ・店舗メンバー：約24,000人が在籍
- ・パート、アルバイトへの安全教育が行き届いていない
- ・店舗規模（従業員数）が30人～250人と格差が大きい

【目的】

- ・危険予知ができるメンバーを育成し、事故を予見することで未然に防止する

【内容】

- ・デジタルツール「Forms」を利用し、システム開発費用はなし
- ・店舗用スマホ型端末を使用し、個々の労働者のスケジュールに合わせて危険予知トレーニングを実施できる
- ・前月の労働災害を題材にすることが可能であり、毎月繰り返し実施する事で継続的な教育ができる

12月度KYT（危険予知トレーニング）活動



【回答選択式】

- カゴ車の車輪で足を踏む
- カゴ車が転倒して下敷きになる
- カゴ車の底板が抜ける

※毎月、15～25問前後出題

【対象人数】

全店舗（24,000人）

【定量的効果】

- ・月間平均実施率：88%
- ・月間平均実施人数：約20,000～21,000人

ポイント

デジタル技術も活用しパートやアルバイト等の多様な働き方に対応した安全衛生教育を推進されています。対話型の教育で高い教育効果が見込まれる点も評価されています。



2	イオン東北株式会社	小売業	従業員規模 300～	秋田	シルバー賞
---	-----------	-----	---------------	----	-------

全社一体の改善サイクルによる安全活動の定着化

本社の各部署が連携した組織力(本社力)と店舗の自主的な安全活動(現場力)の両輪で、全社一体となったマネジメントサイクルを確立し、安全活動の定着化を図っています。
ポイントは4つです。
①全店共通の継続した労災防止策・改善策の実施、②本社各部署が連携し、店舗の安全活動を推進・サポート
③内部統制部門による安全チェックと店舗の自主的な改善活動、④改善事例を全店に水平展開

【本社】人事

- ・全社安全対策立案
- ・改善事例の水平展開
- ・本社各部署との連携

【本社】営業

- ・5Sマニュアル作成
- ・取組み状況の確認

【本社】経営監査

- ・安全チェック
- ・評価と是正指導

店舗

- ・全店共通の安全活動
- ・自主的な改善活動

【本社】商品

- ・作業手順書作成

ポイント

企業として、全ての事業所（店舗）の安全衛生水準の向上にコミットされている点が評価されました。



3	社会福祉法人松美会	保健衛生業	従業員規模 100～299	山口	ブロンズ賞
---	-----------	-------	------------------	----	-------

安全・安心な介護職場を「仕組み」で実現！

課題

- 腰痛をはじめ労災災害が減らない介護職場
- 心的ストレスも多く離職者が多い介護職場

「仕組み」でそれを改善したい！

具体的な改善にむけた仕組み

下関市 ノーリフティングケア モデル事業所

技術

- ノーリフティングケアの推進
- 持ち上げない 抱えない 上げない 引きずらない介護 ※平成31年より

環境

- 自職場の危険源の特定
- 職場環境の他者点検(年1回) ※平成18年より

身体

- 職員の腰痛等健康調査(年2回) ※令和元年より
- 調査結果に基づき看護職による健康面談

心

- 職員の仕事満足度調査(年1回) ※平成17年より
- ストレスチェック(部署・職種ごと分析)(年1回)

すべての介護事業所で**危険源**(職員の安全・安心を阻害している要因)を洗い出した⇒**182個**

危険源について 起こりやすさと影響規模を踏まえて**危険度の優先順位**をつけて対応した

職員一人ひとりが「自分たちの働く職場に潜む危険源」を発見し 対応策を計画し 対応策に取り組み 結果を評価し 改善する(毎年4月に評価し見直す)

職員一人ひとりの労働安全意識が高まった！

結果

労働災害件数の減少 ⇒ 令和4年度:0件(～12月)
低い離職率 ⇒ 令和3年度:6.5%

令和4年2月 **労働安全衛生マネジメントシステム ISO45001の認証取得**

「ここなら安心して働ける」と市内唯一の介護福祉士養成校から新年度3名の新卒採用(内定)に至った

ポイント

「労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)」の認証を取得された、先進的な施設です。

労働安全衛生
マネジメント
システムの認証





4	イオン北海道株式会社	小売業	従業員規模 300～	北海道	ブロック賞 (北海道・東北ブロック)
---	------------	-----	---------------	-----	-----------------------

「可視化」で防ぐ！労働災害



●危険箇所を「可視化」することで労災発生リスクを防ぐ取り組みを行いました。



結果



業務労災発生件数
昨年対比

85%

1点目は「**労災ハザードマップ**」の作成です。以前より「リスクアセスメント」や「ヒヤリハット」を実施していますが、もっとわかりやすく、誰にでも伝わるように**全店で「労災ハザードマップ」を作成いたしました。**新人の**雇入れ教育時**にも使用することができ、リスクがある箇所を口頭ではなく視覚で伝えることができています。

2点目は「**オリジナル危険ステッカー**」の作成です。弊社の労災傾向を分析し、発生頻度の高い労働災害を洗い出しそれに合わせた「**危険ステッカー**」を作成し、掲示を行いました。労災ハザードマップとリンクさせることで、より発生リスクのある場所を伝えるようにしました。

ポイント

労働災害防止のための基本的かつ重要な手法である、見えにくいリスクの「見える化」に取り組んでいただいています。



5	株式会社万代	小売業	従業員規模 300～	大阪	ブロック賞 (近畿ブロック)
---	--------	-----	---------------	----	-------------------

現状の問題点

雇入れ時の安全衛生教育の向上

店舗に於ける「雇入れ時の安全衛生教育」はオリジナルDVDを活用した総合教育の後、配属部門に於けるOJTによる教育を実施しているが、入社時の総合教育DVDの制作年度が古く、マニュアルの改定等に適応できていない箇所も多数ありDVDの一新を余儀なくされている状態であった。
また、内容は入社時の教育としては物足りない状態で、単にDVDを鑑賞するのが「教育」となっている傾向にあった。部門別の労働災害発生状況の傾向や、発生頻度の高い災害等についての「教育」が欠落しており、教育する側の所属長に於いても、資料としては使いにくいDVDとなっていた。
入社直後は、不慣れな作業からのスタートであり、災害が発生し易い状態となる。新規出店の店舗等に於いては、新人パートナーが大半を占めるため、労働災害が発生し易い傾向があり、雇入れ時教育のレベル向上により、災害を未然に防ぐことが可能となるため、教育ツールの一新は不可欠となっていた。

問題点に対する取組内容

- ①直近1年間の部門別労働災害の分析（部位・状態・状況・場所・原因等）
- ②店舗運営部門（店舗支援部門）と、分析結果を共有（店舗トレーナーとの情報交換）
- ③DVDではなく、社内Webを活用した「動画ムービー」でのビジュアル資料の制作（制作スケジュールの策定）
- ④スケジュールに基づき、各部門トレーナーとの打ち合わせ
- ⑤部門別ムービーの原稿（台本）作成（運営部と人事部での最終台本のすり合わせ）
- ⑥ゲロサリー・デイリー/農産/水産/畜産/惣菜/ベーカリー/フロントエンド計7部門の動画を制作。
（演者は現役トレーナーと人事部）また、部門共通項目（マテハン機器の取り扱い等）についての動画も追加
- ⑦全部門の動画の編集作業（冒頭説明（司会者）統一動画の追加やフロント、背景、音響等々の統一作業）
- ⑧7部門に於ける雇入れ時の安全衛生教育ツールが完成（①～⑧に費やした期間：延べ4か月）
- ⑨**社内Web上の「動画閲覧サイト」に（安全衛生教育動画を）掲載し、所属長への周知を経て運用開始**
※各部門のマニュアル変更、仕様変更等に伴う「動画」コンテンツの改廃については、毎年期首月（3月）開催の「中央安全衛生委員会」で是非を検討し、必要に応じて動画コンテンツを更新する。

動画のメリット

各種マニュアル・教育資料等は多数ありますが、『見える化』できているとは言い難く、入社間もない新人に於いては、文書での説明はイメージしづらい個人毎で危険の捉え方も異なります。動画は、誰もが同一目線で危険度を理解することが出来ます。また、リアルな映像は記憶に残るため、自ら危険回避の行動に出るという未然防止に繋がります。



ポイント

効果的・効率的な安全衛生教育ツールの開発に取り組まれました。教育内容についてもPDCAサイクルを回し、必要な内容にアップデートされる仕組みを構築されています。



6 社会福祉法人あかつき福祉会 保健衛生業 従業員規模 100~299 大阪 ブロック賞 (近畿ブロック)

専門家のアドバイスも活用した労働災害の再発防止対策



★令和3年度より、労働災害の再発防止にむけて1つの施設で労働災害が発生すると「①発生日」「②場所」「③概要」を全施設・全職員に通知して注意喚起をしてきたが、対策は状況をふまえて各施設で検討・実施してもらってきた。



各施設の管理職の悩みを解決するため、令和4年7月より、以下④⑤の情報も合わせて全施設・全職員に通知するようにした。

④労働災害が発生するたび、産業医ほか障害者支援に関して日頃から相談している**作業療法士や心理師などの専門家による再発防止のアドバイス。**

- 就業前、就業前後、就業直前に、こまめに腰痛予防体操・ストレッチを行う。
- 長時間作業（長時間）の集中を自分のペースに合わせるようなイメージで意識しましょう。
- 作業などの準備が整っていないと動きが硬くなり、腰痛のリスクになります。動作の前後で準備をしましょう。
- 体が固まった状態で、大きな動きをした際に痛みが生じやすいため、体を伸ばす機会を設けた方がよい。
- 1日一回以上定期的に、固まった体を伸ばす習慣をつけることが大切です。例えば、寝る前にストレッチを徹底して行う。さらに起床前にもストレッチが効果的です。
- 腰痛がある時は無理をしないようにする。

⑤専門家からのアドバイスをふまえて、実際に労働災害が発生した施設において検討した今後の具体的な対応策。

- 1日に複数（複数回、複数箇所、複数施設など）のストレッチをやることを管理職で。
- 業務中の腰痛等の発生後、施設等で管理職が再発防止に向けた取り組みを確認し、必要に応じて指導・意識付けを行う。
- 腰痛の痛みが長期化する。



ポイント

法人本部が主体となって、外部の専門家も活用しながら、傘下施設の安全衛生水準の向上のため効果的・効率的な取組を実施されています。



7 株式会社イトーヨーカ堂 小売業 従業員規模 300~ 東京 ブロック賞 (関東ブロック)

労災予防オリジナルポスターの募集 ~各店・各部の取り組みから全社の予防へ~

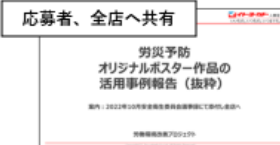
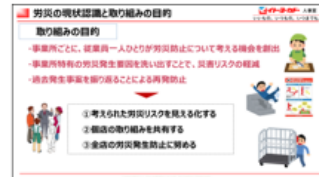


1. 取り組みの考え方

各事業所では、管理者や労務担当により、各々の環境を踏まえた労災予防教育を実施している。本企画では店舗、個人の取り組み（従業員教育、環境整備、意識付け等）を全事業所へ共有し、一人ひとりが自分ごととして考える全社的な労災予防につなげていくことを目的に実施。お客様に向けたPOP等の告知力が優れた従業員の取り組み等のパフォーマンスを労災予防促進にも活用ができ身近な労災予防策となりました。

2. 取り組み内容

- ・6月16日~7月31日応募期間 全127店舗中、42店舗より65作品の応募
- ・応募全作品を、社内イントラに投稿し従業員が閲覧可能
- ・応募作品は、労働環境改善プロジェクトメンバーとゾーン責任者で選考を実施し、共有すべき作品を選考
- ・共有すべき選考作品は、毎月の安全衛生委員会で**全事業所へ案内**し、従業員への予防促進へ活用し、その実施状況を集約し応募者へフィードバックするとともに全店へ予防促進事例として共有
- ・**身近な仲間が作成したポスターに親近感が湧き予防意識が高まる**等との意見有
- ・22年度発生件数は微減状況を推移し一定効果を確認。次年度も継続実施の予定



ポイント

コンペによる意識啓発と、集合知の活用を図った安全衛生水準向上のための巧妙な取組です。



8 株式会社デリシア 小売業 従業員規模 300～ 長野 ブロック賞 (東海・北陸ブロック)

安全動画で労災防止！



これまで従業員への安全教育は危険箇所や危険作業など書面上でマニュアル化されたものを入社時に教育してきたが、理解度には個人差があり、また教え方も人によって異なっていたため、同様の労災が頻発していた。

日本語が通じづらい外国人技能実習生の雇入れを機に、怪我なくどう安全に作業をしてもらうのかを検討し、安全動画の取組みを始めた。当初は技能実習生向けだったが、全従業員を対象とした安全教育に切替え、今では50本以上の安全動画が完成し、従業員に視聴してもらっている。

DELiCiA 安全動画制作
全部門共通
ロング台車・カット台車
取り扱い時の注意点



- 動画化したことにより
- 危険な作業を「動作」として認識することができ、誰でも分かり易く、安全作業に対する理解度が高まった。
 - 教育の質が画一化され、教育の差が解消された。

労働災害発生件数は減少傾向

ポイント

デジタル技術も活用し、外国人労働者も含む多様な働き手に対応した効果的な安全衛生教育を推進され、成果も出されています。



9 株式会社リオン・ドールコーポレーション 小売業 従業員規模 300～ 福島 ブロック賞 (北海道・東北ブロック)

安全衛生巡店での改善事項(抜粋)



労働健康安全管理アドバイザー(左)から、店舗責任者が指導説明を受けている

※労働健康安全管理アドバイザーとは、福島産業保健総合支援センター講師で、当社との契約のもとに活動をお願いしている方の社内呼称



商品搬入口とバックヤード通路の段差にトラマークを表示し危険の見える化を図る

このような指導内容を、Teamsのファイル共有機能を用いて本部から全店舗に展開している



店舗で発生した火傷事故の再発防止のためPOPを作成

リオン・ドールグループ計	労働災害	業務災害	通勤災害
平成30年度	58	53	5
令和元年度	62	56	6
令和2年度	49	42	7
令和3年度	65	61	4
令和4年度	31	27	4

※令和4年度は12月16日現在

ポイント

労働災害防止に係る知見を有する外部の専門家を積極的に活用されています(労働災害防止の専門家として「労働安全・衛生コンサルタント(国家資格)」もご利用ください。)

日本労働安全衛生コンサルタント会





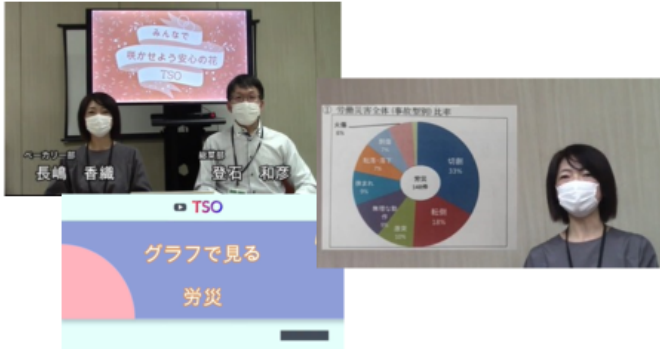
10	サミット株式会社	小売業	従業員規模 300～	東京	ブロック賞 (関東ブロック)
----	----------	-----	---------------	----	-------------------

動画を活用して労災事故発生防止！



食品スーパーマーケットというパートタイム社員やアルバイト社員が多い業種のため、入社時の安全教育や継続的な啓蒙活動を、より分かり易く伝えるための動画教材を作成しました。

店舗社員が普段からよく知っている、営業や店舗支援業務を担う部署に属する社員が、自ら説明することでより具体的に伝わりやすい内容となりました。



【その結果】

- ・労災事故の発生防止につながり、新規出店や社員の入れ替わりにより新規入社者が多い中でも、発生件数の千人率は過去最低となっている。
- ・また、伝える内容にブレがなくなり、全店での安全教育のスタンダードレベルのアップにも繋がった。

ポイント

デジタル技術も活用し、パートやアルバイト等の多様な働き方に対応した安全衛生教育を推進されています。



11	社会福祉法人川福会	保健衛生業	従業員規模 300～	大阪	ブロック賞 (近畿ブロック)
----	-----------	-------	---------------	----	-------------------

路上事故防止のための危険箇所調査（通勤及び業務中を含む）



地域の高齢者福祉という業務の特性から車両を使用することが多く、当法人の労働災害の内、発生場所が路上という事案の数は座視できないレベルにあることから取り組みを実施することとした。

車両等による通勤災害だけでなく、サービス提供中の移動などを含めた、過去10年間の通勤・業務で移動中のトラブル・事故等について調査しその一覧表を作成。

発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因	発生場所	発生時刻	発生状況	発生原因
...



注意喚起が特に必要と思われる箇所（現場）については、写真や地図を添付し、情報を法人内で共有。

危険箇所の情報共有にて事故防止を図っています。

実施効果

危険箇所の情報共有だけでなく、狭い路地での、対向の際の待機場所などの情報交換等により各職員の意識が向上。全車両へのドライブレコーダーの設置も相まって、運転マナーの向上といった副次的効果も生まれました。

ポイント

交通労働災害防止のためのヒヤリハット等の共有は有効な取組です。社会福祉施設における取組は先進的です。

交通労働災害の防止について



14

光建工業株式会社

建設業

従業員規模
50~99

福島

建設現場におけるワンコイン(安価)での熱中症対策自販機の展開



【現状の課題】

- ①建設業では夏季の熱中症が多発する。
- ②対策のため塩飴や熱中症グッズの配布をしているが現場の作業員さんが中々手に取らない。
- ③飲料水についても、大量となるため、元請側での補充や温度管理が難しい。



【打開策の検討】

弊社と協会の(「光建会」)にて対策の協議を行った。
「飲料水の補充・温度管理が難しいのであれば、自販機メーカーに一括依頼をしてはどうか」
「作業員さんが手に取りづらいのであれば、安全対策費として取って赤字でワンコイン(50円又は100円)で売れば、買いやすい手に取って貰いやすいのではないかと」

→具体的な設置へ、自販機メーカーとも協議を重ねる。



【当社・協会・自販機メーカーの協力成果】



『熱中症対策自販機』の展開を実施！

- 展開にあたってのポイント
- ①安価な値段にての飲料提供
(取って赤字の金額とし、現場の人が買いやすい金額設定)
 - ②ワンコインでの提供
(50円または100円とすることにより、買いやすいよう配慮)
 - ③自販機メーカーの協力により、常に在庫が豊富かつ温度管理がされている状態にキープ。

上記自販機設置現場では、熱中症事故ゼロ達成！



関係する人たちが協力をし、より魅力的な職場環境へ！

ポイント

自販機会社様の参画も得たwin-winの取組です。

15

有限会社美松運送

陸上貨物運送業

従業員規模
50~99

北海道

健康への第一歩！地域を歩いてYouTubeに公開



当社は、令和3年9月に健康事業所宣言を行いました。社員の健康増進を図り元気に働ける事業所を目指すため、「生き生き健康事業所」掲げております。

美松運送チャンネル

・会社のことはもちろん、業界のこと、そして、地元藤岡市について、「健康と観光の融合」をテーマに、実際に名所を歩いて当社のYouTubeチャンネルに「健康への第一歩シリーズ」としてアップしています。

健康への第一歩シリーズ ▶ すべて再生

健康経営推進員として、心身に健康であり続けるために！地元藤岡市のスポットをリンクさせながら健康第一を掲げていきます！！



美松運送チャンネル
(2021年4月開設)

美松運送チャンネルとリンクして当社のホームページのトピックスコーナーでも「健康への第一歩」を掲載。各種健康にまつわる情報を掲載しています。

また、社内&社外に発信・発行している社内外報「美松運送通信」では当社の衛生管理者による「健康マメ知識」コーナーを毎月発行しています。詳細は当社ホームページのバックナンバーに掲載中です。

一般的な社内報とは異なる新聞風スタイルを取り入れています。

HPトピックスコーナー



美松運送通信

ポイント

YouTubeで地域の「おすすめウォーキングスポット」等を発信されており、労働者だけでなく地域の幸せのためのアクションといえます。

16

株式会社カインズ

小売業

従業員規模
300～

埼玉

事故共有を紙ベースからイラスト動画へ！事故共有動画！



【背景】

- ・朝礼、昼礼等で事例共有をしているものの、アルバイトメンバーまで伝わりにくい環境
- ・事故共有方法が紙ベースの資料で実施していたため、アルバイトメンバーまで浸透しづらい環境
- ・資料の掲示のため、一人ひとりの理解度、認識に格差が発生

【目的】

- ・事故発生後の共有方法を動画（動くイラスト、実際の映像等）に変更することで、**視覚的なインパクトを与え**、文章よりも**記憶に残りやすく**することで、安全最優先な行動へつなげる

【内容】

- ・過去の事故事例や直近の事故事例をイラストを活用し、動く動画を毎月作成
- ・アルバイトメンバーまでの実施率が高い「KYT活動」と連動させる

【対象人数】

全店舗（24,000人）

【定量的効果】

【月間平均視聴人数】
・約18,000～21,000人



ポイント

デジタル技術も活用しパートやアルバイト等の多様な働き方に対応した安全衛生教育を推進されています。

17

株式会社カインズ

小売業

従業員規模
300～

埼玉

自律的な店舗安全推進活動！



【背景】

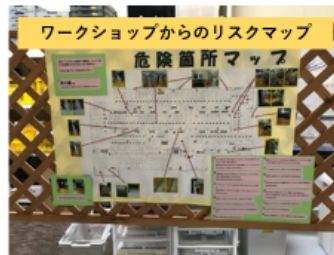
- ・安全最優先といっはいるものの、同様な事故が繰り返されている
- ・安全に対し、自律的・自発的な行動がとれていない

【目的】

- ・店舗毎の課題に対し、店舗メンバーが**自律的・自発的**に安全最優先な行動が取れる体制を構築し、より安全な店舗環境へつなげ、安全意識の醸成をする

【内容】

- ・安全推進リーダーが中心となり、店舗毎の課題に対しテーマを設定し、毎月安全についてワークショップを開催。対策案を検討・実行し、進捗管理を実施する
- ・毎月、「議事録」「課題確認表」を作成
- ・**好事例を本部で吸い上げ、社内報で紹介。また、水平展開へつなげる**



【対象店舗】

全店舗（220店舗）

【定性的効果】

- ・店舗全体の安全意識が高まってきている
- ・安全だけでなく、全体のコミュニケーションが円滑になった
- ・メンバーが直接安全について話してくれるようになった

ポイント

パートやアルバイト等の多様な労働者の方の意見も反映した安全対策を着実に進められています（労働安全衛生規則第23条の2の措置）。

18

株式会社カインズ

小売業

従業員規模
300～

埼玉

事故「ゼロ」を目指そう！「3ヶ月無事故運動」



【目的】

・全社をあげての安全に対する意識の向上

【対象期間】

・2022年10月1日（土）～2022年12月31日（土）

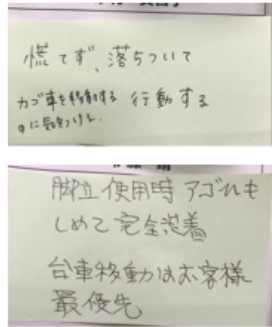
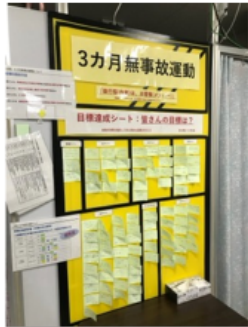
【内容】

・全メンバーが安全に作業するための個人目標を設定し、毎月振り返りを行うことで安全意識を醸成につなげ、可視化する

媒体【ポスター】



個人目標設定



【対象人数】

全店舗（24,000人）

【定量的効果】

2022年10月～11月事故件数：16件
 2021年10月～11月事故件数：25件
 2020年10月～11月事故件数：34件
 2019年10月～11月事故件数：48件
 ※途中経過のため、2ヶ月間の実績で比較

ポイント

多くの方が「自分は労災とは無縁」と思いがち（その結果労災が発生している）ですが、誰も被災者になり得ることと、そうならないための意識付けをしっかりと行っていただいています。

19

株式会社いなげや

小売業

従業員規模
300～

東京



「安全衛生チェックリスト」で労災予防！



労災発生予防のために毎月各事業所で行われている産業医巡視の結果から、重要な指摘事項をピックアップし具体的な事例の画像を入れた**安全衛生チェックリストを作成し全事業所に配信**。

各事業所の衛生管理者は安全衛生チェックリストを元に事業所の巡視を行うことにより、産業医視点でのチェック項目を自分の事業所におきかえて確認できるようになり、**産業医からの指摘事項を全事業所で共有**できるようになった。

【その結果】

- ・産業医の指摘事項だけでなく、季節毎の注意事項や、行政からの様々な労災予防策なども安全衛生チェックリストに盛り込むことにより、より幅広い労災予防の情報を全事業所で共有化できるようになった。
- ・各事業所の衛生管理者の労災予防知識を常にアップデートできるようになった。

ポイント

企業として、全ての事業所（店舗）の安全衛生水準の向上にコミットされています。

20 株式会社カクヤス 小売業 従業員規模 300～ 東京

「リアハッチにゴツンッ」防止作戦！！



飲食店様、一般消費者などのお客様にお酒を中心とした飲料などを販売配達している当社。店舗より配達する車両（軽バン）のリアハッチに「頭などをぶつける」「指などを挟みこみ」などの労災が発生しています。特に2021年4月～2022年3月には6件のリアハッチに頭をぶつける事故が発生し、6件中5件が、頭から出血し、病院に搬送された労災事故が発生していました。当社ではこのような災害を防止するために、2022年6月よりリアハッチにクッション素材を貼り付けることにしました。この結果、リアハッチに頭をぶつける労働災害は現在までのところ0件となっています。



次に配達先は…。頭にゴツン！！

《事例》リアハッチを開めるとき、目測を誤り、頭にぶつかった。



ポイント

見えにくいリスクの「見える化」を工夫されています。リスクの「見える化」は労働災害防止のための基本的かつ重要な手法です。

21 株式会社IHIエスキューブ 通信業 従業員規模 300～ 東京

身近な災害事例を自分ごと化へ！

IHIエスキューブ

～安全衛生スタッフお手製リーフレットで啓発活動～

事務所執務が主であるため、日常の安全衛生意識は薄れがち。。。しかし実際は、建設現場や製造現場に限らず、事務所でも転倒や腰痛などの災害は発生している。今年の年末年始安全衛生強化期間(2022年12月1日～2023年1月15日)は、職場と従業員の安全衛生意識の向上を目的に、お手製リーフレットを全職場に配信。



リーフレットは、各事業所の安全衛生スタッフが厳選した①事務所でも起こりうる災害事例の紹介②予防のコメント・資料を掲載

【職場の反応】職場で災害事例を読み合わせし、どんな時に何を気をつけるかを職場メンバー一人ずつに考えてもらう機会になった。

ポイント

一般にデスクワークの方は「自分は労災とは無縁」と考えられる傾向が強いのですが、実際にはIHIエスキューブ様のご指摘のとおり、転倒災害等は職種関係なく発生しています。この観点からの注意喚起は先進的です。

22

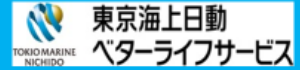
東京海上日動ベターライフサービス株式会社

保健衛生業

従業員規模
300～

東京

『FAN×FUNプロジェクト』でウェルビーイングな職場環境に！



【目的】「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」よりも「ざっそう（雑談・相談）」風土をさらに進化させ、社員の働きやすさの向上、心理的安全性の高い職場環境を実現し、社内外に影響力の輪を広げ、身体的、精神的、社会的に、より満たされた職場を目指す



FAN FUN Fan×Funプロジェクト

ベターライフサービスのファン(Fan)であるスタッフ全員が、職種や雇用形態にとらわれずに、みんなで楽しく(Fun)あらゆる活動することで、もっと社内外にファン(Fan)を増やしていく活動！



- ・Fan×Fun（自分たちが楽しく働くことで地域にファンが増える）の意識の醸成
- ・Fan×Fun で身体的、精神的にも満たされた状態を広く地域社会の皆さんに周知・展開
- ・まじキラ（まじめな話を気楽にする会）等の活動により、メンバーが一体となった運営
 - ⇒ ストレスがたまりがちな介護の職場を、より安心して働くことのできる職場に！
 - ⇒ 生き生きとやりがいを感じることができ、より働きやすい会社へ！

ポイント

ウェルビーイング（個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること）な職場の実現のために取り組まれています。

23

社会福祉法人恩賜財団
東京都同胞援護会

保健衛生業

従業員規模
300～

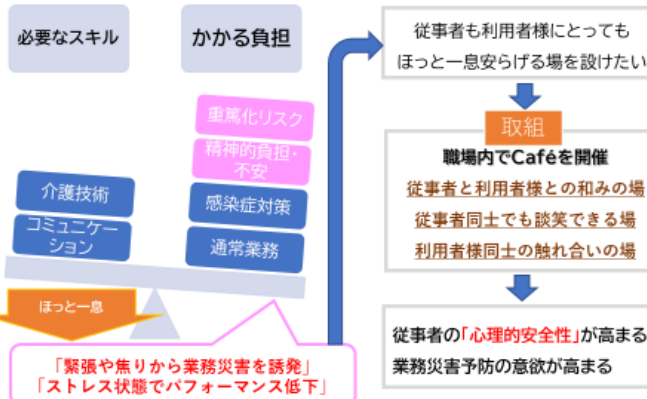
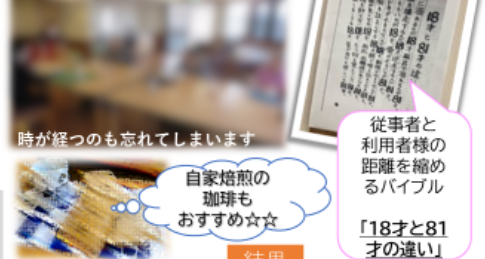
東京

ゆとりある就業環境の確保 ～『ゆたかCafé』でほっと一息～



気持ちの焦りは事故を誘発します。日々時間に追われる介護施設では高い緊張感が続くため、本会では、施設内に『Café』を開き、介護従事者と利用者様がほっと一息をつく時間を設け、従事者のリラクゼーションに努めています。その結果、ミスが減りお互いが助け合える関係ができ、さまざまな業務災害防止につながります。

とある日の『ゆたかCafé』の風景



結果
負担感疲労感 減！
組織への愛着心（エンゲージメント）増！
介護施設における業務災害 減！
高ストレス者割合 前年度比 47%
高エンゲージメント者割合 前年度比 156%
(2022年度 法人内調査による)

ポイント

緊張や焦りを原因とする労働災害は介護の現場で数多く発生しており、そのことに着目された先進的な取組です。

介護労働者の
転倒災害について



24

株式会社利根川産業

その他

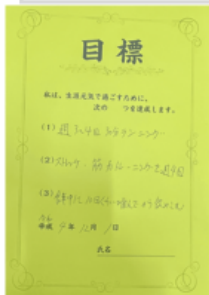
従業員規模
50~99

東京

ドライバーの不健康が事故を引き起こす！？ 生活習慣改善プロジェクト



当社は東京都内を中心に廃棄物収集及びリサイクルを営んでおります。
健康で長く働きたいという従業員の声を受け、会社として何か取り組みが必要と感じた。
特にドライバーの健康管理は事故防止にも通じることから
今年からドライバーの健康管理を専門とした会社と契約しました。
生活習慣改善を目的として、
健康セミナーや管理栄養士との健康面談を通じて、健康改善計画を策定し取り組みを始めました。



【その結果】

- ・個人健康目標を策定し1ヵ月に1回自己評価を実施する
自分で決めたことは行動に繋がりがやすい。体重が減ったという人も出てきた
- ・体組成計を購入し週1回体重測定（体重管理が基本）
- ・会社として健康に関する表彰制度も策定予定

ポイント

健康保持増進と労働災害防止は密接な関係にあり、取組の効果が期待されます。

25

一般社団法人日本芸能従事者協会

その他

従業員規模
1~9

東京



フリーランス芸能従事者のメンタルケア相談窓口を開設！

開設前 フリーランスの芸能従事者はどこにも相談できずメンタルを病んでいました。調査によると、

- 仕事に不安がある88%
- ストレスを感じている97%
- 誹謗中傷され自殺を考えた18%

コロナ禍の芸能人の自殺報道8名
こんな状況で相談窓口相談したことがあるのは、わずか4.1%
メンタルヘルスケアが抜け落ちた危険な状況でした。

臨床心理士による相談窓口を開設
労災保険特別加入者と会員のメンタルヘルスケアを改善促進



ハラスメント
コロナストレス
など

よろず相談

芸能従事者特有の働き方に配慮した24時間対応のオンライン相談。相談しにくい理由に4割以上が、「身元が分かるのが怖い」状況に配慮して『身バレ』『声バレ』しないメール形式で、安心して業界外の専門家に相談できるシステムにしました。芸能業界の安全衛生向上、相談体制の確立、ハラスメント対策、自殺防止に役立てるのが目的です。


安全安心



ポイント

フリーランス・個人事業者の方のメンタルヘルスの取組を進めていただいています。

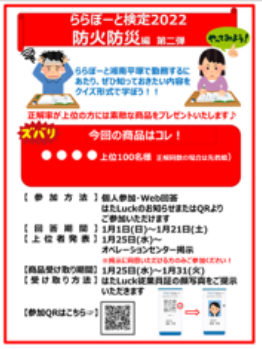
26	三井不動産商業マネジメント 株式会社ららぽーと 湘南平塚オペレーションセンター	その他	従業員規模 10~29	神奈川
----	---	-----	----------------	-----



ららぽーと湘南平塚全従業員対象 スマホで答える防火防災クイズ!

課題

- 異なる約230社が集まる商業施設内において、それぞれの従業員に対する防火防災等の意識付けや、有事の際の対応などに課題を感じている。
- 日々各店舗の接客や運営などの業務がある中で、自主的に取り組みたくなる施策として全店舗を対象に企画。



- 施設従業員約3,000人を対象に、スマートフォンで回答できる防火防災クイズを定期的実施。
- クイズに答えて楽しく防火防災について学ぶ施策。
- 成績上位者には豪華な賞品をプレゼント。

ららぽーと湘南平塚では、従業員のモチベーションがアップするような企画がたくさんあります。例えば、従業員向けにジュースやお菓子が配られたり、従業員クイズに参加するとギフト券がもらえたり...従業員をとっても大切にしているので、また働き始めて3ヶ月ですが、ららぽーと湘南平塚で働いてよかったなと思います。

●防火防災に対する意識UP
●2021年度・2022年度それぞれ2回ずつ実施した。
●従業員満足度向上
参考：ららぽーと湘南平塚で働いて嬉しかったこと！（求人広告内特集ページ）
[従業員感想 b1_1122 \(mitsui-shopping-park.com\)](http://mitsui-shopping-park.com)

ポイント

デジタル技術を活用した安全衛生の取組を進めています。

27	株式会社ササキ	製造業	従業員規模 100~299	山梨
----	---------	-----	------------------	----



SASAKI de宅配 ストレス軽減！ 働くみんなの買い物サポート

「夕食の支度どうしよう…」そんなストレス軽減のために、株式会社いちやまマートさんの「スマホde宅配」をササキの形にしたのが「SASAKI de宅配」



職場で食材を受け取れることで、余計な寄り道も不要！
三密も回避でき、コロナ禍でも安心して利用できます！

ポイント

労働者の幸せのためのアクションです。

28

川中島建設株式会社

建設業

従業員規模
50~99

神奈川

作業前のフルハーネス点検装置



作業前に、フルハーネス等が着脱されているかの判断を「AIJO Safety」というアプリケーションを用いて管理しました。このアプリケーションは、AIによりヘルメットやフルハーネスを自動的に着脱の有無を判断してくれるため、設置しておくだけで管理ができます。一人一人管理していくことが理想ではあるが、人数が多い作業場等はそれが難しいため、自動化させていくことで管理漏れや手間を省くこととなりました。



AIJO Safetyパンフレットに記載してあるイメージ図



実際の使用感

ポイント

安全衛生水準の向上のためにデジタル技術を積極活用されています。
(第14次労働災害防止計画には安全衛生対策におけるDXの推進が盛り込まれています。)

29

株式会社小宮山土木

建設業

従業員規模
50~99

長野

従業員が健康で豊かな人生を選択できる「きっかけ作り」に挑戦しています！ 株式会社小宮山土木

■社会全体の高齢化が進む中、建設業も例外ではありません。当社では、**健康こそが幸せの第一歩！**と考え、健康経営優良法人を認定取得し、全従業員が一体となって様々な取り組みを行っています！

■その中の取り組みの一つに、毎月「健康情報紙」を発行しています。記事には、実際に見聞きた具体的な情報を盛り込んだり、毎月従業員にインタビューをして、その方の仕事への想いや趣味、健康への取り組み等を記事にしています。また、一人ひとりの給与明細に添付することで従業員やご家族の目に留まるよう工夫をしています。

▶社員、協力業者の皆さんに積極的に情報提供を行っています！



■情報紙によって「あの人の違った一面を知ることができ、コミュニケーションのきっかけになっている」、「あの健康情報を試してみた」との声を聞き、全体の健康意識を高める「きっかけ作り」になったと感じています。

▶これからも「すべての働く人たちの健康サポートに取り組んでいきます！」

ポイント

労働者の幸せのためのアクションです。なお、安全衛生の取組は健康経営優良法人の認定要素にもなっています。

30

高木建設株式会社

建設業

従業員規模
50~99

長野

列 高木建設株式会社

建設現場がおもしろい！DX活用で働きがいのある職場に転換！

建設DXとは？ Digital

少子高齢化に伴い建設業界でも人手が足りなくなってきました。建設業でも人手不足なので人ができる事・機械やAIができる事それぞれを生かして現場を進めています。これを建設DX [デジタルトランスフォーメーション] と言います。

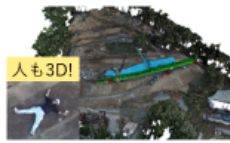


モチベーションが上がらない現場
危険で労働環境が過酷な災害復旧現場では職人のモチベーションがなかなか上がりません。そこで思いついたのが現場のDXです。現場所長自ら出来ることはなんでも取り入れようと率先しDXを取り入れました！



笑顔とやる気のUP
さらにチームワークと安全意識が格段に高まりました。今ではその評判から学生の見学会やマスコミを含め総勢250名程の来場をいただいています。

① ドローン空撮や三次元モデルの活用



手書き図面より時短で正確

② 腕時計型端末で作業員の健康状態をチェック



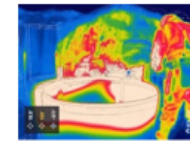
緊急時も居場所が分かる

③ AIで重機と人の接触事故防止



運転席のモニターに表示

④ 高温箇所見える化で火傷の防止



サーモカメラで安全対策

⑤ 企業専用LINEでチームワーク向上



メールより密に連携

ポイント

安全衛生水準の向上のためにデジタル技術を積極的に活用されています。

31

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業
飯田ONランプ橋作業所

打ち合わせシートで事故ゼロの建設現場に

◎建設現場って？

- ・毎日状況が変化
- ・重機が稼働
- ・高所、閉所で作業

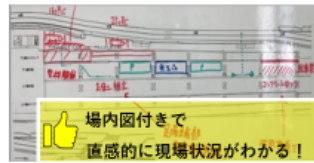
従業員は常に
事故と隣り合わせ

→ 事故を無くすためには…？

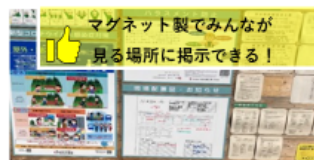
充実した打ち合わせによる現場状況の周知が不可欠！

→ そこで！

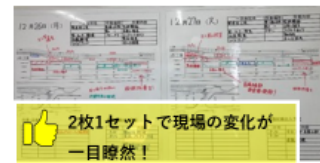
打ち合わせシート！



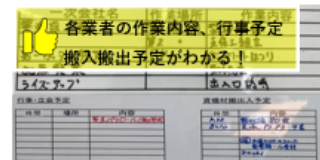
場内図付きで直感的に現場状況がわかる！



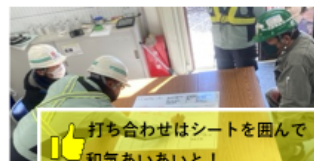
マグネット製でみんなが見る場所に掲示できる！



2枚1セットで現場の変化が一目瞭然！



各業者の作業内容、行事予定搬入搬出予定がわかる！



打ち合わせはシートを囲んで和気あいあいと！

◎打ち合わせシートによって！

従業員は常に
現場状況を把握！
事故ゼロの安全な建設現場に！

ポイント

KY等がルーティーンとして毎日着実に行われる仕組みが構築されています。

32

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業
飯田ONランプ橋作業所

衛生用品の設置で建設現場従事者の「健康を守る」

【建設現場の従事者の特徴として】

- ・高齢者が多く・・・「持病持ちが多い」
- ・飲酒・喫煙者が多く・・・「血圧が高い」
- ・人が密集して・・・「コロナリスクが高い」
- ・汚れることが多く・・・「不衛生である」

これでは危ない！！

健康は自己管理 だから
現場従事者それぞれの
健康管理に対する意識を
向上させたい

どうすれば・・・??

緊急時のためにAEDを設置して守る！
血圧計で異常を察知して守る！
非接触体温計で異常を察知して守る！
非接触型の消毒液でウイルスから守る！

これなら、皆安心して働ける！！

救急箱+AED（自動体外式除細動器）



非接触体温計



血圧計
非接触消毒液



POINT
手をかざすだけ
触らず消毒！
血圧計は手首で
らくらく測定！

従事する作業員の声

- ・AEDがあれば万が一のとき安心だ。
- ・タバコ減らそうかな。
- ・今後は食生活も見直そうと思う。

【設置したことで】

健康管理はそれぞれが行わなければならない。
目に見えた成果が出るわけではないが、
健康に対する意識向上につながった。

ポイント

労働者の健康増進のため「ナッジ」による行動変容が図られています。

33

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模
10~29

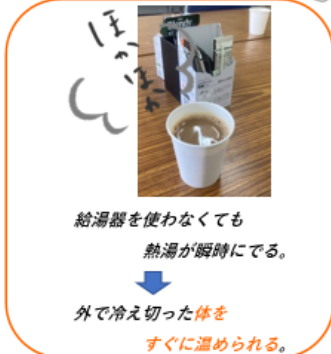
静岡

株式会社 安部日鋼工業
飯田ONランプ橋作業所

休憩時間を充実させるウォーターサーバー



冬場は・・・



夏場は・・・



水分をとりながら、暑をとりながら、コミュニケーションもとれる！！

ポイント

労働者の幸せのためのアクションです（SAFEコンソーシアムは、従業員の幸せのための安全アクションを推進する活動体の名称です。）。

SAFEコンソーシアム
について



34

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業
飯田ONランプ橋作業所

「小学生の生の声」を全員で共有し、安全意識の向上を図る

現場見学会開催

近隣の小学校第1学年 計5クラス148名が、授業の一環として現場見学を行い、後日、画用紙に貼られた手作りのお礼のメッセージカードを生徒全員より頂いた。

メッセージの内容

誤字・脱字・乱文もあるが、心温まる内容が多かった。
 ・いろいろな体験ができて楽しかった！また来たい！
 ・大人になったら工事現場で働きたい！
 ・これからもお仕事頑張ってください！

事務所に掲示するだけでなく、作業員全員で、「生の声」を共有できれば、モチベーションや安全意識の向上に繋がるのではないかと。

横断幕として製作し、休憩所前に掲示することで、作業員全員で「生の声」を共有する。

メッセージカードを屋外に掲示し、全員で共有



小学生の「心温まる生の声」を共有することで、モチベーション・安全意識の向上を図る。
※個人・団体名は伏せています。

ポイント

安全衛生の目的は誰もが怪我なく安全に家に帰ることです。それを忘れないよう、取り組まれています。

35

株式会社安部日鋼工業

建設業

従業員規模
10~29

静岡

株式会社 安部日鋼工業
飯田ONランプ橋作業所

入りたくなるトイレで建設現場の「きたない・きついを払拭」

建設現場に配置される従来のトイレ

- ・汲取り式だから、臭いが・・・「きたない」
- ・男女一緒のトイレなんて・・・「きたない」
- ・夏場のトイレはサウナ状態・・・「きつい」
- ・冬場のトイレは冷蔵庫状態・・・「きつい」

このままじゃダメだ！！

建設現場のトイレを一新することで「きたない・きつい」を払拭したい

どうすれば・・・??

トイレは男女別がいいよね。
 下水は無いけど、水洗式にできないかなあ。
 水道はひけないけど、ウォシュレット付にできないかなあ。
 家以上のトイレにするには冷暖房完備にすればいいじゃん。

これなら、皆入りたくなるよね！！



従事する作業員の声
 ・これこそ本当の快適トイレだよ。
 ・ストレスの無いトイレって初めて。
 ・毎日入りたい(笑)

ポイント

労働者の幸せのためのアクションです。

36	社会福祉法人 杏樹会 特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館	保健衛生業	従業員規模 50～99	愛知
----	-------------------------------	-------	----------------	----

～介護ロボットの導入標準化と活用を考えた取り組み～

=ウェルビーイング（安全衛生）部門=

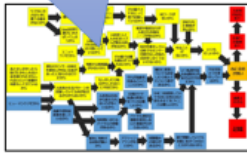
社会福祉法人 杏樹会
特別養護老人ホーム杏樹苑爽風館



介護施設にも昨今のICT連携と介護ロボットの活用で業務の効率化や向上が求められる時代になってきています。しかし、こんな介護ロボットがあったら便利なので欲しい、という思いだけで、ロボットありきの購入、そのような導入をすると使用と定着に失敗してしまいがちになります。私達は介護ロボットを適切に導入し定着するための9つのステップを学び、実践することで課題を見える化し、課題解決の打ち手として介護ロボットに求める機能をチームで合意形成することで導入、使用定着、KPIの測定を通じた小さな成功体験の共有とアクションプラン作成により、介護者の経験年数などで偏った対応にならない為の介護の標準化を実施して課題解決を図っています。

「9つのステップ」Ⅰ,情報収集 Ⅱ,組織全体での合意形成 Ⅲ,実施体制の整備 Ⅳ,課題の見える化 Ⅴ,導入計画づくり Ⅵ,試行的導入の準備 Ⅶ,試行的な導入 Ⅷ,小さな成功事例の共有 Ⅸ,本格的導入に向けた手順書・マニュアル作り

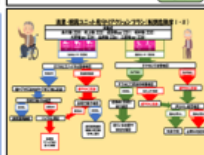
BS法・KJ法を用いた課題の見える化「心に余裕がない」事へのロボットによる打ち手の検討。ロボットに求める5つの機能をチームメンバー全員で合意形成する



様々なメーカーのレクチャーとデモを通じて情報収集し機能を比較
全ての年代と職種に理解してもらえ施設独自のマニュアルを作成



介護職員だけでなく多職種に我がこととして目的、内容、機器の取り扱い方を作成したマニュアルを用いて研修を実施し周知を行った



作成したアクションプランに基づいて行動することで皆余裕を持った判断の対応へと改善していった

ポイント

安全衛生の確保のためにはテクノロジーの活用も有効ですが、本取組においては、テクノロジーありきではなく、課題の特定とその解決のための手段の導入というステップをきちんと踏まれており、高い効果が期待されます。

37	社会福祉法人あいの土山福祉会 エーデル土山	保健衛生業	従業員規模 100～299	滋賀
----	--------------------------	-------	------------------	----

スタッフファーストへの挑戦！ 人材確保対策室の実践



人材確保対策・労働室

もともと労働人口の少ない土山町において、介護職員の確保は困難を極め、一時は事業継続が危ぶまれる事態に追い込まれた。危機感をもった我々は、どうすれば職員が定着するのかを、毎月定例で1時間協議するPTを立ち上げ、様々な働き方改革を実践した。一時は労基署からは正助告を受けたり、職員不足で閉鎖の危機にあった当事業所が今では、**入職待機者が多数続出するまでに劇的に改善した！**

トリプルゼロの推進

離職率の減少と働きやすい職場を構築すべく、まず我々が取り組んだのが介護職の離職事由である「腰痛・長時間労働・メンタル不調」をなくす取組「**トリプルゼロ**」の推進である。様々な取組を行った結果、職員一人当たりの**平均残業時間は0.25時間/年**、腰痛はゼロ、メンタル疾患もゼロといずれの離職要因もゼロとなっており、**離職率は3%**と全国平均より10%以上低い結果を出すまでになった。



ポイント

安全な職場の実現のための取組を進めていただいています。このような取組は人材の定着にも資するものです。

38

深田サルベージ建設株式会社

建設業

従業員規模
300～

大阪



「心身の健康づくり計画」を制定し取り組んでいます

当社で制定している「心身の健康づくり計画」の基本方針に従い、従業員とその家族の幸福生活、活気のある職場を目指して、ライフワークバランスの向上に取り組んでいます。

【結果】

●有給休暇取得日数
毎年上昇



●2021年男性社員の
育児休暇取得者3名
平均取得日数60.3日



(女性取得率100%維持)

【具体的な取り組み】

適正な労働時間

週休二日制度導入



ノー残業デーの
実施



社員の健康管理

内閣府 「健康宣言」を
「カエル!ジャパン」行なっています
キャンペーン参加



- ・特に男性社員の育児休暇取得の推奨
- ・毎年ストレスチェックの実施
- ・年末年始・GWなどに有休奨励日設定

女性の活躍推進

女性の役職者比率

- 2018年：5.6%
- 2019年：6.0%
- 2020年：6.8%
- 2021年：7.0%



ポイント

労働者の幸せのためのアクションです。

39

社会福祉法人あかつき福祉会

保健衛生業

従業員規模
100～299

大阪



「健康経営優良法人」認定制度を活用した人材の定着・確保

★人材の「定着」「確保」は労働災害防止の観点からも重要な課題。

- ①勤続年数が短い職員が多いと、業務への不慣れもあって
- ②人手不足が続くと、職員の負担が増えていき

労働災害!

が発生しやすい職場になってしまう



でもな
やらないし
ええん
か...

①職員に長く定着してもらうためには?

他法人と比べても働きやすい職場であることを
【職員】にどうやってアピールするか...

②多くの求人から選んでもらうためには?

他法人と比べても働きやすい職場であることを
【求職者】にどうやってアピールするか...



わかりやすいし、
福祉法人で認定を受け
てると少し少ないから、
アピールしやすいわ!

健康経営優良法人の認定を受けよう!

<メリット>

- ①【職員】に、他法人と比べて職員の働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる法人であることが伝わる。
- ②【求職者】など外部の人に、働きやすい職場づくりに取り組んでいる法人であることが伝わる。
- ③認定基準をふまえた更なる取り組みを行うことで、より働きやすい職場づくりに繋がる。

効果



(2020年度より認定取得)

①離職率

認定前と比べて現在は約4%減少。

②採用

人材派遣会社などの担当者からは「求職者に紹介がしやすくなった」との声をいただき、多くの求職者を紹介していただいている。

ポイント

労働災害防止の取組は健康経営優良法人の認定要素にもなっており、企業価値の向上にも繋がります。

40

社会医療法人ペガサス

保健衛生業

従業員規模
300～

大阪

ペガサストレーニングコーナーでHealthPromotion



新型コロナウイルス感染症の流行による外出控えなどによって、運動不足の職員が増えており、休憩時間や勤務終了後などに気軽に運動することを促すことができないかと考え、職員が自由に利用できるトレーニングコーナーを設置した。ランニングマシンやエアロバイク等のマシンのほか、自動販売機やソファを設置し、休憩できる場所としても提供し、休憩中にちょっとした運動ができるようにバランスボール等の手軽にできる器具なども設置した。



8月16日から利用者集計をはじめ、約3ヶ月で200名を超える職員が利用した。福利厚生と職員の健康増進や運動に関する意識の向上に繋がっており、堺市スポーツ推進課と合同で体力測定会を令和5年1月に実施することが決定。

ポイント

第14次労働災害防止対策にも盛り込まれている、労働災害防止のための労働者の身体機能の維持向上策（運動の促進等）に取り組んでいただいています。

41

社会医療法人ペガサス

保健衛生業

従業員規模
300～

大阪

ペガサス メンタルサポート



メンタルヘルスの不調は精神面だけでなく、身体面にも悪影響を及ぼす場合があります。心身の不調から、本来持つ能力が十分に発揮できなくなったり、メンタルヘルス不調が原因で、欠勤や休職、退職に至る場合があります。メンタルヘルス不調は、職員だけでなく、職場や法人全体にも大きな影響を及ぼします。メンタルヘルスの不調は必ずしも個人の性格や考え方に起因するものではありません。メンタルヘルス不調の背景には、ハラスメント、人間関係等の職場環境が要因となっている場合があります。そのため、メンタルヘルス不調を単に個人の問題と捉えず、個人での取組とともに、法人としてもメンタルヘルス対策に取り組むことが大切だと考えました。



公認心理師・臨床心理士を配置して、職員のメンタルヘルスカケアを行うための相談窓口を設置。新入職員に対して、ペガサスマンター制度を導入し、仕事のこと、生活のこと、将来のことなど気軽に相談できる環境を整えた。職員からは、「仕事以外のことなどでも相談する相手がいることは、心強い」「職場の上司には言いづらいこともあったが、メンターの方に話することができ、心が軽くなった」「誰にも相談できずに困っていた」などの声があり、反響があった。令和4年度 職員の相談件数78件

ポイント

施設だけでなく、法人全体として職場のメンタルヘルス対策にコミットされています。

44

株式会社イズミ

小売業

従業員規模
300～

広島

労災を事前に防ぐ 健康な体の維持

you
me

課題：従業員の高齢化による身体能力、注意力低下。病気による体調不良。

ヘルスケアアプリ HELPO の導入

ちょっとした体の不調を
チャットで相談(365日24時間)

オンライン診療サービスで
受診しやすい環境づくり

ウォーキングイベント開催

歩行距離が長い人を表彰



気になることはすぐ解決



不調を放置しない



病気になりにくい体づくり

▶まだ効果は出ていませんが、健康な体の維持が労災を事前に防ぐ基本と考え取り組んでおります

ポイント

デジタル技術を活用して安全衛生対策に取り組んでいただいております。第14次労働災害防止計画にも盛り込まれており、結果が期待されます。

取組事例 企業等間連携部門



1

ミズノ株式会社

製造業

従業員規模
300～

大阪

ゴールド賞

(株)ベルク様との労働災害防止に向けた取組



■概要

(株)ベルク様（本社：埼玉県）とミズノは、青果・グロサリー部門での台車での巻き込み事故、長時間の立ち仕事での疲労、滑りによる転倒などの課題を同時に改善する取組を実施。モニター調査などを経て先芯入りワークシューズ(JSAA規格)の導入決定に至る。

■詳細

<経緯>

ベルク様では青果・グロサリー部門の従業員に対しシューズの貸与を実施していなかった。労働環境改善・労働災害防止に向け設備等のハード面だけではなく、従業員のシューズにも着目。導入に向けてミズノとの取組が開始された。

<対象従業員>

青果・グロサリー部門 約2,500名

<導入効果>

導入した部門での従業員への評判は高く、「疲れにくい」という評価多い。台車の巻き込みや転倒事故も減少傾向 前年比78%減少（2021年）

■今後に向けて

ミズノは「一人ひとりを、今日も主役に。」というコンセプトの元、様々な労働環境改善に向けた商品開発を進めて行く。



痛みやすり減りに対し耐久性のある人工皮革で補強。



ほこりや転倒がシューズ内に入りこくすため、アッパー全体に人工皮革を採用。



ポイント

小売店の株式会社ベルク様とスポーツメーカーのミズノ株式会社様が連携して、ミズノ様製のプロテクティブスニーカーをベルク様の対象従業員に使用させ、台車による巻き込み事故や転倒災害を減少させています。



2	ANAホールディングス株式会社	その他	従業員規模 100~299	東京	シルバー賞
---	-----------------	-----	------------------	----	-------

オリジナルANAグループ体操



スポーツクラブを運営されている株式会社ルネサンス様と、社員一人ひとりが健康でいきいきと働けるよう、弊社従業員のための「オリジナルANAグループ体操」を共同制作しました。

- ①従業員の業務中のケガ発生の防止、肩こりや腰痛予防など労働災害の防止にむけた意識を向上させるべく、業務開始前の準備体操として取り入れています。
- ②従業員がそれぞれの立場でお客様と繋がっていると実感できる歌詞、メロディやANAグループらしい動き(飛行機ポーズ)などを取り入れ、笑顔で楽しく体を動かせるよう工夫しています。
- ③海外で勤務する従業員をはじめ、どなたでも一緒に楽しめるようANA Group Taisou(英語版)を製作し海外でも展開が広がっています。また、YouTubeでも公開しており、どなたでもお気軽に体験できます。

その結果・・・



(※撮影：2019年)

- ・労働災害発生率 導入前後比 **35%減**
⇒ケガの防止へ
- ・日常的な運動実施率 導入前後比 **8.6%増**
⇒運動習慣の向上へ
- ・YouTubeの閲覧回数7.5万回数

ANAグループ体操の
Youtubeはこちらから⇒



ポイント

ANAホールディングス株式会社様とフィットネスの株式会社ルネサンス様の連携により、業務内容にも対応したオリジナル体操を開発され、その実施によって労働災害の減少・運動実施率の向上等の成果を出されています。



3	特定非営利活動法人FC.ISE-SHIMA	その他	従業員規模 1~9	三重	特別賞
---	-----------------------	-----	--------------	----	-----

地元サッカークラブを活用した啓発活動

～伊勢労働基準監督署様との連携～

安全パトロール実施



6月24日に伊勢労働基準監督署様と共同で、選手が勤務する株式会社ぎゅーとら藤里店様において**安全パトロール**を実施し、転倒災害や腰痛防止について呼びかけました。
メディアに取り上げて頂くことで一般市民への呼びかけにも寄与致しました。
【実施場所】青果・鮮魚・精肉・惣菜コーナー、バックヤード
当日は伊勢市小保図書館様にも取材頂き、活動の様子は記事として図書館内でも掲示・配布され、関連図書で紹介にも活用されました。
安全パトロールはこれまで第二次産業の企業で行っていたが、第三次産業での実施は初の試みと伺っております。

ストレッチ&トレーニング動画作成



近年増加している転倒・腰痛による労働災害防止のため、誰にでも簡単にできる**ストレッチ・トレーニング動画**を作成し、弊クラブのYouTubeチャンネル及びSNSで配信致しました。また、映像は伊勢労働基準監督署様に提供させて頂き、伊勢労働監督署様を通じて管内の企業の食堂でも放映されております。
動画の構成は足と腰回りの柔軟と強化を図るストレッチ3種目、トレーニング3種目となっております。
放映して頂いている企業の方からは記憶に残る印象的な動画とのお言葉を頂いており、動画を通じて関心を持って頂く啓蒙に繋がっていると感じております。
【監修】医療法人MSMC みどりクリニック (FC.ISE-SHIMA提携院)
【実演指導】FC.ISE-SHIMA所属選手
「動画はこちらからご覧いただくことができます」→

転倒災害防止デー開催



10月10日の「転倒災害防止の日」に合わせて2022年10月8日のホーム最終戦を「**転倒災害防止デー**」と題し、ホーム戦イベントを実施しました。
当日は有限会社出馬重機様、株式会社キナン伊勢営業所様・志摩営業所様、コマツカスタマーサポート株式会社 中部カンパニー三重支店様、防衛省 自衛隊 三重地方協力本部伊勢地域事務所様のご協力を頂き、「**はたらく自動車**」の**車両展示と乗車体験**を行いました。
伊勢労働基準監督署様にはPRブースを出展頂き、リーフレットの配布等、周知・啓発活動を行なっていました。



小保図書館 新まちづくり時報
号外 2022年7月発行



公式HPにて告知



ポイント

サッカークラブFC.ISE-SHIMAと伊勢労働基準監督署が連携した地域における安全衛生意識啓発の取組です。



4	本田技研工業株式会社 埼玉製作所	製造業	従業員規模 300～	埼玉	ブロック賞 (関東ブロック)
---	---------------------	-----	---------------	----	-------------------

HK株式会社・公式陸上部・健康推進室コラボ企画 アス飯

当社は、社員食堂や購買を運営するHK株式会社と連携し、これまでも健康を意識した特別メニュー(健康食メニュー)の提供を行ってきた。しかし、健康食メニューは「味が薄い」「満足感がない」等のイメージから10%程度のシェア率であった。そこで、健康食メニューの人気を上げ、社員の筋力向上による労働災害防止、生活習慣病予防等につなげるため、当社の公式陸上部と連携し、栄養バランスを考慮したアス飯(アスリートご飯)を考案した。アス飯では初の試みとしてワンプレートに、肉料理と魚料理を盛り付けるなど栄養バランスを維持しつつボリューム感を出し、男性社員の多い製作所でも受け入れやすい健康食のイメージづくりを心掛けた。結果シェア率は30%台と大幅に向上し、都度行う意識調査では従業員の健康への意識変化も確認できている。今後は公式野球部編のアス飯もHK株式会社と考案し、新たな健康メニューとして展開していく予定である。

<p>公式陸上部による試食会</p> <p>①提供予定メニュー全ての試食を実施 →選手認定のアス飯の実現</p> <p>②通常食の予算内でアスリートが食べても満足感がある献立・味を実現 →今後健康メニューの一つとして定番化可能</p> <p>③メニュー考案の様子を事前に食堂TVにて放映 →選手と同じものが食べられることに期待感UP!</p>	<p>メニュー提供日当日</p> <p>予定食数+追加食数完売!! 「食と運動から健康を考える」イベントとして好スタートを切ることができた</p>	<p>今後の活動</p> <p>①引き続き陸上部・野球部に協力依頼 →従業員の関心を高める工夫</p> <p>②アス飯として今後も継続的なメニュー提供 →製作所全体としての健康への意識づけと習慣化を図る</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>野球部編 アス飯 検討中!</p> </div>
--	---	---

ポイント

社員食堂提供企業様 (HK株式会社様) 及び企業内陸上部 (Honda陸上競技部) と本田技研工業株式会社埼玉製作所様の3者での連携により、社員食堂での健康メニューを開発し提供されています。



5	株式会社AYUMI BIONICS	その他	従業員規模 1～9	東京	ブロック賞 (関東ブロック)
---	-------------------	-----	--------------	----	-------------------

従業員の足腰年齢をAIが評価し、労災リスクを見える化する最新テクノロジー

ビルメンテナンス業では中高年従業員が多く、行動労災が多数発生している。また、従業員数が多いためひとりひとりの状況に合わせた対策が難しかった。大成株式会社では大学発ベンチャーと連携してAIシステムを導入し、従業員の足腰年齢の衰えを定量化することで労災リスクを見える化した。選定された労災ハイリスク者にはパーソナライズされた運動と食事のフォローアップを行い、労災リスクの改善に取り組んでいる。

ビルメンテナンス業では、行動災害が84%を占める

従業員の運動動作をAIが解析し、足腰年齢と労災リスクを見える化する

労災ハイリスク者には運動と食事のフォローアップ

行動災害

種類	割合
転倒	47%
転落	24%
無理な動作	13%

ポイント

企業オリジナル体操 (開発) も人的資本投資であり、企業価値の向上にも繋がります。

8 株式会社カクヤス 小売業 従業員規模 300～ 東京

「前掛け」しっかり着用して腰痛防止!!!

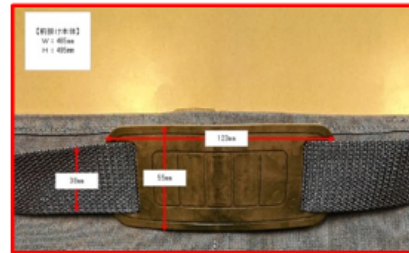


お酒を中心とした飲料などを販売・配達している当社。取扱う商品は生ビール樽、瓶ビールケースなど重量物が多く、かねてより、腰痛対策の必要性を考えていました。本年4月より開催している安全衛生会議内で、酒屋で実践されてきた「前掛け」の効果（適正に装着することにより腹圧を上げ、腰回りを安定させることにより腰痛予防になる）について改めて認識をしました。そこで、従業員が簡単にかつ適正な位置で「前掛けを装着できるように」と株式会社カンセイ様のご協力のもと新型前掛けを作製。現在は100セット導入。今後全社に導入予定です。

■ 前掛けを着用する意味

- ① 汚れ防止
- ② 商品のほこりを取る
- ③ 腰を守る

そこで、簡単に着用できる「前掛け」を制作!!!



【使用者コメント】
「バックルだと緩みづらい（手で結ぶより）」
「紐が太いので腰回りが安定する」

ポイント

重量物取扱い作業における労働災害防止のためには、本取組のように機器や装備の適切な利用も有効です（中小事業者は、導入のため「エイジフレンドリー補助金」がご利用になれます。）。

エイジフレンドリー補助金

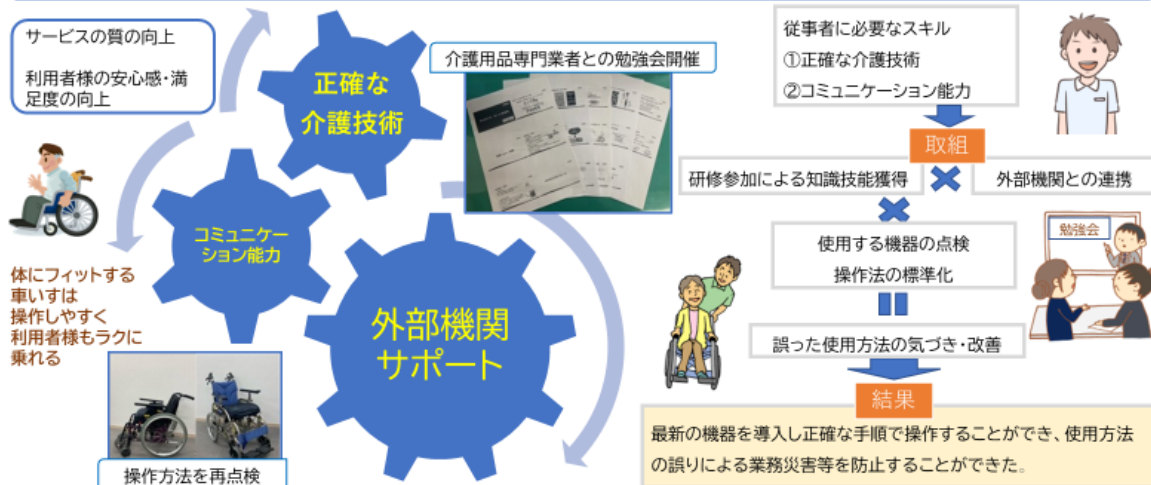


9 社会福祉法人恩賜財団 東京都同胞援護会 保健衛生業 従業員規模 300～ 東京

従事者と利用者様にとって良い状態を
～企業等との連携で従事者・利用者様に笑顔を～



外部機関との連携のもと使用する機器の操作手順を再確認することで、利用者様にとっても快適に、従事者にとっても操作しやすく誤った使用方法による業務中の事故の予防も実現。従事者・利用者様の笑顔（ウェルビーイングの追求）を目指すことができました。



ポイント

介護機器を導入するだけでなく、機器の提供事業者様と連携し、職員の方による機器の正しい使用方法の修得までしっかりフォローされています。